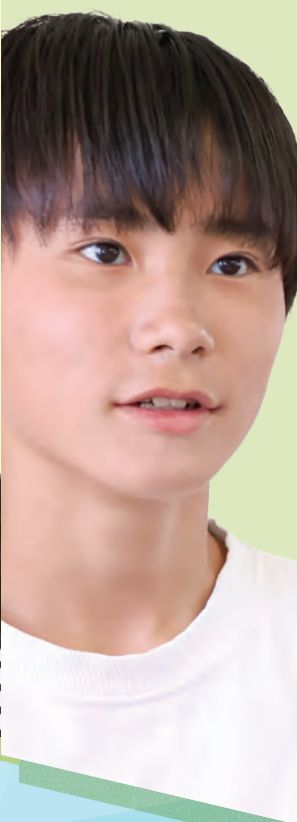


特集

「戦後80年」
未来につなぐ
平和のバトン

富野 由悠季さん

昭和16年生まれ。小田原市出身。
日本大学芸術学部映画学科を卒業後、虫プロダクションに入社、TVアニメ「鉄腕アトム」の演出を経てフリーに。
代表作は「機動戦士ガンダム」「伝説巨神イデオン」「Gのレコンギスタ」など。
令和3年7月、小田原ふるさと大使に就任
令和3年11月、文化功労者に選出
令和6年4月、本市と包括連携協定を締結
令和7年3月、日本芸術院会員に選出



戦後80年という節目を迎えた今年。本市では、市民が平和について考え、行動するきっかけをつくる取り組みを進めてきました。戦争の悲惨さを風化させず、平和の尊さを次世代に伝えることは、今を生きる私たち一人一人が未来に向けてできる大切な行動です。

今月号では、戦争を実際に体験した人の思いや、学びを受け止める機会として、小田原の地で戦争を体験し、戦後を生きたアニメーション映画監督の富野由悠季さんと市長による特別対談、さらに「中学生沖縄派遣事業」に参加した生徒の言葉を通じて見えてくる、平和な未来への道筋を紹介します。

命の重みや平和を継承する意義について一緒に考えましょう。

ID P10733
岡総務課 ☎(33)1291

目次(特集記事)

P2-3 富野 由悠季さん×加藤 憲一 特別対談「平和を願う思い」この地に息づき、育むべきもの P4-5 小田原の中学生がつなぐ「平和の誓い」

主な内容

P6-7 モルディブで見た気候変動の現実 他
P10-11 小田原城巡りに、いざ出陣！ 他

P8-9 無痛分娩^{ふんべん}などの新たな取り組みを開始します 他
P12 市長連載「誠実 信頼 希望」 他

おだわらいふ P1-8

戦争とは…

—市長

戦後80年という節目の年に、戦中、戦後を生きてこられた富野監督とお話しする機会を頂き、たくさんお聞きしたいことがあります。

まずは、これまで過去から未来への時間軸、地球を含めた全宇宙という空間軸を縦横に行き交い、未来のテクノロジーから身近な家族愛までを視野に、さまざまな作品を組み立てられてきた監督からすると、太平洋戦争の悲劇、そして、その反省を込めたこの80年をどう見えていますか。

—監督

僕は零戦や航空機に興味を持っていた、高校時代までミリタリーをかなり高く評価していました。戦記物を読むことが多かったんですが、高校2、3年生くらいの時に「この後、玉碎する…」とか「沈んでいく艦」みたいな表現が多くて、読む気がなくなりました。社会に出てアニメの仕事を始めて、ガンダムの企画が来た時「敵を人間にする」と決めました。そうした時に「どうしたら戦争が起こるのか」、つまり「戦争の原因」というものを作らなければ

ばいけなかったんです。「宇宙人が地球に攻めてくる」とすれば、宇宙人は地球が欲しいがために地球を攻めるという必然があるのですが、人間同士が地球に住んでいるときに「戦争を起こす」ということはどういうことなんだろうかと。すると必ず「戦争を起こす人がいる。戦争の原因は、やっぱり人間が作るんだ」ということに気が付いたんです。

また、太平洋戦争を境に戦争の原因が変わりました。それまで土地の奪い合い、陣地論でしたが、現代ではレアメタルを獲得するという資源論になり、それは今もなお続いていますね。それと、戦争の原因はもう一つあります。それが宗教戦争です。数千年の宗教戦争がいまだに続いています。これを解消できるようなものの考え方をわれわれが持たない限り、地球上は安泰ではないと言わざるを得ないです。

中学生の体験

—市長

先日、監督が新聞のインタビューで「戦争は、ゲームではない」と語られていましたが、まさに最近の若い世代は、ゲームなどで戦争に触れている人も多いです。

ゲームではなく本当の意味での戦

い、人が殺し合う現場の悲惨さというもの的一端を、時空を超えて若い人たちに感じてもらいたいということもあり、今年、市内在住の中学生24人を沖縄県に派遣しました。

派遣後、生徒たちに話を聞くと、中でも衝撃を受けたのが、南城市にありますがアブラガマ(負傷兵や住民が避難した自然洞窟)での体験だったようです。戦時中、住民が逃げ込み、真っ暗な中で亡くなった人もいます。「実際にその空間に入った時、戦争の生々しさを肌で感じた」と話してくれました。

—監督

僕も「ガマ」は知っています。多古にあった防空壕の比ではない。自然の洞窟で半分以上海水が入ってくるようなところですよ。それでも、そこにいれ

小田原市長
加藤 憲一

地域でいのちを支えていくために。

インフラの重要性

—市長

この80年、人類は長い時間を経て蓄えられた地球上の資源を、極めて短い時間の中で消費しつつあります。そして同時に、地球環境の悪化を自ら招いて、生存の持続可能性を損ね、それがまた国家間の争いの原因にもなっています。人口は今なお増え続け、食料もエネルギーも、このままでは人類を賄えなくなる可能性が高い。それでも、この平和の中で「戦争を起こさないために」「これから先、どうしていくのか考えないといけない。共に課題を乗り越えたり、より寛容になって受け止め

対談

「平和を願う思い」



【特集】戦後80年 未来につなぐ平和のバトン

特別

この地に息づき、育むべきもの

アニメーション映画監督 富野 由悠季さん×小田原市長 加藤 憲一

たり。そういう「進化」をしていかないと、多分乗り越えていけないんじゃないかと思っています。

—監督

この十数年、我々が暮らしている社会インフラについて考えるようになりました。電気、ガス、水道、道路、そして新幹線などの鉄道交通網といったインフラは、利用者がいつでも使えるように、毎日毎日メンテナンスしている技術者がいます。戦後、こうしたインフラ基盤の整備が進み、21世紀になったら、科学技術で何でも突破できると思い込んで大量消費してきた。それが、地球のキャパシティを超え始めていくことに気が付いているはずなのですが、われわれはどうも夢を追いついていないと思うんですよ。

80年を振り返って

—市長

今の大量消費と、情報技術への依存を深めている状況は、先ほどの太平洋戦争をやるうとしていた時の、日本軍の状況認識とよく似てると思うんですよ。「何とかなるだろう」と突っ走っているのかな。でも、その先に何が待っているのかということを、冷静に見極め

ないといけないと思うんですよ。

私は「地域自給圏」と言っていますが、私たちの「いのち」を支えるために必要なものを、その地域でできるだけ整えることが必要だと思います。この先の未来、人類は現状を反省し、進化していくことができるのでしょうか。

—監督

「今の人類にはできません」と言うしありません。そして、歴史の中から学べるかというと、そうでもない。歴史は繰り返してしかないからね。だから新しい方法とか、ものの考え方を見つける必要があるのです。例えば、宗教が人を救済できるのか、また、科学技術はこの先進歩すればするほど、人類の首を絞めることにならないか。だからこそ、新しい技術の使い方、組み立て、システムというの、新たに考え直さなくちゃいけない時代に突入しているんです。そう考えた時に、人類の進化の可能性を見つけられるのが、インフラを整備している、体験的に知っている「技術者」なのかもしれないと思っています。少なくとも、哲学者とか、科学者、研究者ではない気がします。

小田原の偉人である二宮尊徳は、いわば土着的な行動力で日本の田畑を改革しました。ただ、日本中を改革でき

たわけではありません。つまり、人間一人ができることはその程度のことなんだということです。

これからの若い人たちには、実直にものを考える、勉強して努力して、自分が面倒を見ることができる範囲のこと、足元のことをしっかりやっていく、土着的な職に就いて頑張ってもらいたいと願います。それと、先達として「本当に君たちに迷惑をかけるようなシステムを作ってしまったごめんね」と謝る必要もあると思っています。

この先の未来へ
メッセージ

—市長

これまで、戦争の愚かしさや悲惨さ

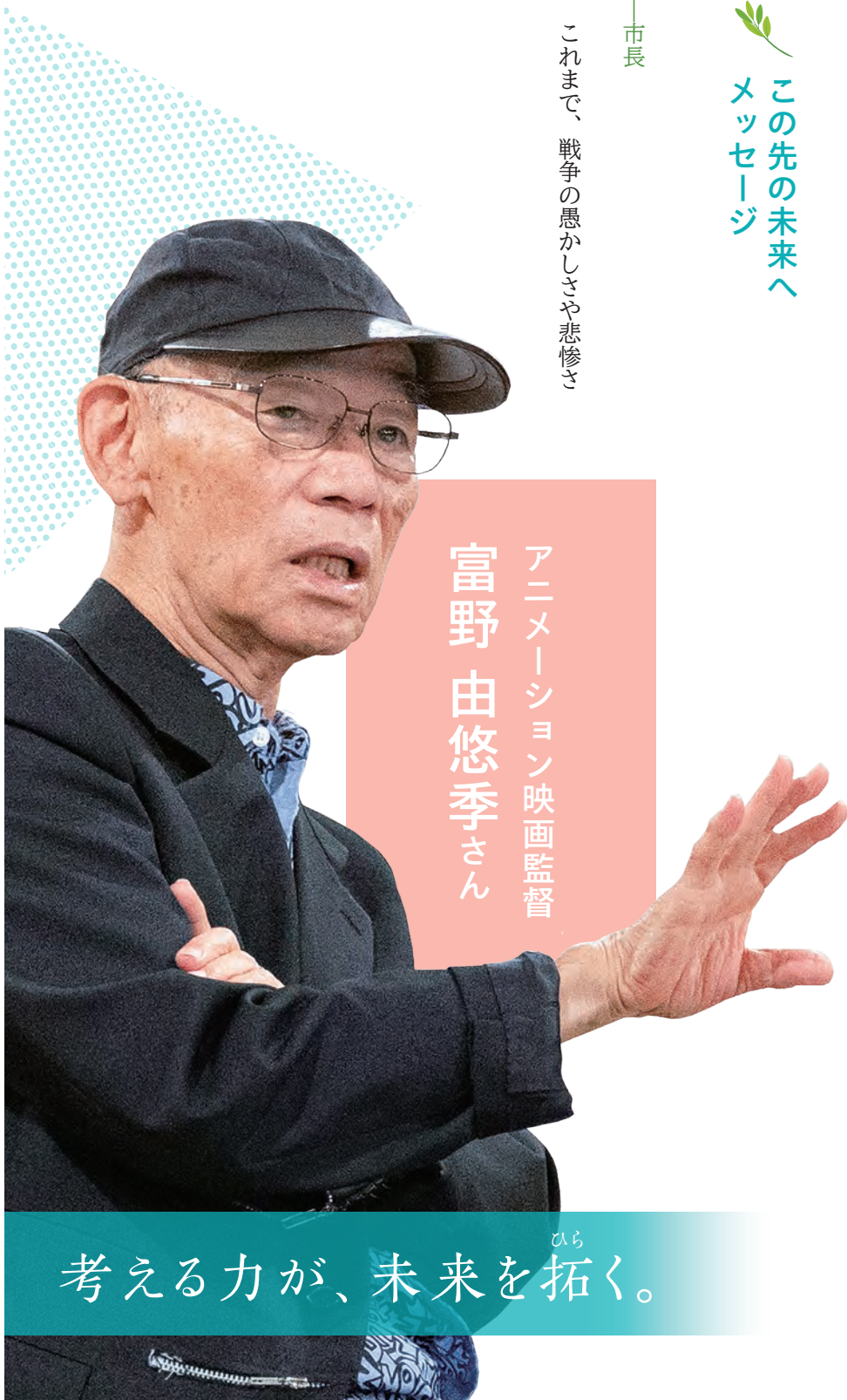
を知りつつも、ほとんど反省されてお

らず、今もずっと続いていて、そして、これは多分止まらないではないかというお話でした。ですがその中でも、今回まさに沖縄に行ってくれた中学生たちも含めて「やっぱり戦争のない社会をつくっていききたい」そのに向けて、もっと勉強していききたい」と思っている人たちもちろんいます。そうした若い人たちに、監督からのメッセージを頂きますでしょうか。

—監督

小田原は温暖な気候で、自然も豊か、一通りのことがそろった土地です。だからこそ、昔は「こんな穏やかな土地からは偉人なんて出ない、せいぜい二宮尊徳くらいだろう」と思っていました。ただ、戦争の歴史、平和な未来を考えれば、こうした土地だからこそ考えられる、ものの考え方があるのではないかと思います。もっと穏やかで、情緒的なものの考え方が。

小田原に生まれたからこその実行力とか言動とか、そうした「金次郎精神」のようなものを持って、それを世界に広めていってほしいですね。



アニメーション映画監督
富野 由悠季さん

考える力が、未来を拓く。

【特集】戦後80年 未来につなぐ平和のバトン

【特集】戦後80年 未来につなぐ平和のバトン

戦争とは…

―市長

戦後80年という節目の年に、戦中、戦後を生きとこられた富野監督とお話する機会を頂き、たくさんお聞きしたいことがあります。

まずは、これまで過去から未来への時間軸、地球を含めた全宇宙という空間軸を縦横に行き交い、未来のテクノロジーから身近な家族愛までを視野に、さまざまな作品を組み立てられてきた監督からすると、太平洋戦争の悲劇、そして、その反省を込めたこの80年をどう見えていますか。

―監督

僕は零戦や航空機に興味を持っていた、高校時代までミリタリーをかなり高く評価していました。戦記物を読むことが多かったんですが、高校2、3年生くらいの時に「この後、玉碎する…」とか「沈んでいく艦」みたいな表現が多くて、読む気がなくなりました。社会に出てアニメの仕事始めて、ガンダムの企画が来た時「敵を人間にする」と決めました。そうした時に「どうしたら戦争が起こるのか」、つまり「戦争の原因」というものを作らなければ

はいけなかったんです。「宇宙人が地球に攻めてくる」とすれば、宇宙人は地球が欲しいがために地球を攻めるという必然があるのですが、人間同士が地球に住んでいるときに「戦争を起こす」ということはどういうことなんでしょうか」。すると必ず「戦争を起こす人がいる。戦争の原因は、やっぱり人間が作るんだ」ということに気が付いたんです。

また、太平洋戦争を境に戦争の原因が変わりました。それまで土地の奪い合い、陣地論でしたが、現代ではレアメタルを獲得するという資源論になり、それは今もなお続いていますね。それと、戦争の原因はもう一つあります。それが宗教戦争です。数千年の宗教戦争がいまだに続いています。これを解消できるようなものの考え方をわれわれが持たない限り、地球上は安泰ではないと言わざるを得ないです。

中学生の体験

―市長

先日、監督が新聞のインタビューで「戦争は、ゲームではない」と語られていましたが、まさに最近の若い世代は、ゲームなどで戦争に触れている人も多いです。

ゲームではなく本当の意味での戦

い、人が殺し合う現場の悲惨さというもの的一端を、時空を超えて若い人たちに感じてもらいたいということもあり、今年、市内在住の中学生24人を沖縄県に派遣しました。

派遣後、生徒たちに話を聞くと、中でも衝撃を受けたのが、南城市にありますがアブラガマ（負傷兵や住民が避難した自然洞窟）での体験だったようです。戦時中、住民が逃げ込み、真っ暗な中で亡くなった人もいます。実際にその空間に入った時、戦争の生々しさを肌で感じた」と話してくれました。

―監督

僕も「ガマ」は知っています。多古にあった防空壕の比ではない。自然の洞窟で半分以上海水が入ってくるようなところですよ。それでも、そこにいれ

小田原市長
加藤憲一

インフラの重要性

―市長

この80年、人類は長い時間を経て蓄えられた地球上の資源を、極めて短い時間の中で費消しつつあります。そして同時に、地球環境の悪化を自ら招いて、生存の持続可能性を損ね、それがまた国家間の争いの原因にもなっています。人口は今なお増え続け、食料もエネルギーも、このままでは人類を賄えなくなる可能性が高い。それでも、この平和の中で「戦争を起こさないため」にこれから先、どうしていくのか考えないといけない。共に課題を乗り越えたり、より寛容になって受け止め

特別 対談

「平和を願う思い」 この地に息づき、育むべきもの

アニメーション映画監督

富野 由悠季さん×小田原市長

加藤憲一

たり。そういう「進化」をしていかないと、多分乗り越えていけないんじゃないかと思っています。

―監督

この十数年、我々が暮らしている社会インフラについて考えるようになりました。電気、ガス、水道、道路、そして新幹線などの鉄道交通網といったインフラは、利用者がいつでも使えるように、毎日毎日メンテナンスしている技術者がいます。戦後、こうしたインフラ基盤の整備が進み、21世紀になったら、科学技術で何でも突破できると思いついて大量消費してきた。それが、地球のキャパシティを超え始めているというのに気が付いているはずなのですが、われわれはとも夢を追いついていっているんですよ。

80年を振り返って

―市長

今の大量消費と、情報技術への依存を深めている状況は、先ほどの太平洋戦争をやるうとしていた時の、日本軍の状況認識とよく似ていると思うんです。「何とかなるだろう」と突っ走っているの。でも、その先に何が待っているのかということを、冷静に見極め

ないといけないと思うんですよ。

私は「地域自給圏」と言っていますが、私たちの「いのち」を支えるために必要なものを、その地域でできるだけ整えることが必要だと思っています。この先の未来、人類は現状を反省し、進化していくことができるのでしょうか。

―監督

「今の人類にはできません」と言うしありません。そして、歴史の中から学べるかという、そうでもない。歴史は繰り返していかないからね。だから新しい方法とか、ものの考え方を見つける必要があるのです。例えば、宗教が人を救済できるのか、また、科学技術はこの先進歩すればするほど、人類の首を絞めることにならないか。だからこそ、新しい技術の使い方、組み立て、システムというの、新たに考え直さなくちゃいけない時代に突入しているんです。そう考えた時に、人類の進化の可能性を見つけられるのが、インフラを整備している、体験的に知っている「技術者」なのかもしれないと思っています。少なくとも、哲学者とか、科学者、研究者ではない気がします。

小田原の偉人である二宮尊徳は、いわば土着的な行動力で日本の田畑を改革しました。ただ、日本中を改革でき

たわけではありません。つまり、人間一人ができることはその程度のことなんだということです。

これからの若い人たちには、実直にものを考える、勉強して努力して、自分が面倒を見ることが出来る範囲のこと、足元のことをしっかりやっていく、土着的な職に就いて頑張ってもらいたいと願います。それと、先達として「本当に君たちに迷惑をかけるようなシステムを作ってしまった（ごめんね）と謝る必要もあると思っています。

この先の未来へ メッセージ

―市長

これまで、戦争の愚かしさや悲惨さ

アニメーション映画監督
富野 由悠季さん

考える力が、未来を拓く。

地域でいのちを支えていくために。

派遣事業に参加した中学生の代表5人



県立平塚中等
教育学校2年
長山さん

橘中学校2年
坂本さん

城南中学校1年
田口さん

鴨宮中学校3年
もんま
門間さん

鴨宮中学校2年
やすだ
保田さん



▲ひめゆり平和祈念資料館を見学する様子

—坂本さん
以前、家族旅行で長崎県の原爆資料館を訪れました。その時に資料館で見た展示品や写真から、戦争の悲惨さを知り、胸が苦しくなりました。もし、自分や大切な家族、友人の命が戦争で失われたらと考えると、とても怖くな

参加したきっかけ

—沖縄戦から学ぶ命の尊さ—

小田原の中学生がつなぐ「平和の誓い」

印象に残ったこと

—長山さん
戦時中、目の前に広がる沖縄の美しい海が、約1500隻の軍艦で埋め尽

—保田さん
私はスリランカで生まれ、小学6年生の時に日本にきました。日本の小学校で第二次世界大戦などについて学びましたが、戦争が起こった背景や歴史について知りたいと思いました。

—門間さん
戦争への関心は漫画がきっかけで、1年ほど前から都内の資料館を巡り、戦争について調べていました。戦時中の人々の思いを知りたいと思い、今回応募しましたが、参加が決まった時はうれしいというよりも、80年前に大勢の人が亡くなられた場所に、足を踏み入れることに対して、緊張感を覚えました。

り、平和について深く知りたいと思いました。

—坂本さん
戦争体験者から「当時は国のために

説明の途中、一時的に明かりを消し、当時の暗闇を体験しました。数秒間でも怖くなり、自分にはとても耐えられないと思いました。当時の人は「傷口を見ないで済むから、光がないのが救いだった」と言うのです。戦争が、どれほど想像を超える恐怖だったことかと思ひ知らされました。

—田口さん
アブチラガマが印象的でした。聴覚に頼るしかない暗闇の中、聞こえてくるのは、負傷した兵士や住民の呻き声や叫び声だったそうで、精神的にも肉体的にも辛かっただろうなと思いました。

—門間さん
また、ひめゆりの塔では「ひめゆり学徒隊」として命を落とした学生について教わり、勉強や部活動などで私たちが当たり前に過ごしている日々が、どれほど恵まれているのか気付かされました。

くされ「黒い海」と呼ばれていたと聞き、海の表情が違って見えました。

「戦後80年事業」の一環として行われた「中学生沖縄派遣事業」では、戦争の歴史に触れるため、市内在住の中学生24人が8月に沖縄県を訪問。実際に沖縄戦の舞台となった地で見聞し、学んだ体験は、彼らにとって命の尊さや平和への願いを深く感じる時間となりました。

派遣事業に参加した中学生の代表5人に本事業を通じて得られた思いを聞きました。



▲沖縄在住の人たちとディスカッションをする様子

死ぬことが名誉なことだった」という話を聞き、とても驚きました。死ぬことは怖いし、私には全く想像できませんでした。

また「沖縄にある米軍の基地についてどう思うか」との質問を受け、戦争が終わった後も、当時の敵国の基地が残り続けていることに、複雑な心境でした。

【特集】戦後80年 未来につなぐ平和のバトン

平和への思い

―長山さん

現地の人から、沖縄の方言で「ヌチ
ドウタカラ(命こそ宝)」という言葉を受



▲アブチラガマに関するレクチャーを受ける様子

教わりました。この言葉は過酷な状況
でも命を大切にし、必死に生きてきた
人々の強い思いを表しています。ご飯
を食べたり、友人と遊んだりする当た
り前と思っている日常が、何よりも貴
重なことだと改めて思いました。

―田口さん

多くの犠牲者を出した沖縄戦です
が、現在的那覇市内はとても栄えてい
て、戦争の面影を感じさせない街並み
でした。多くの犠牲を乗り越えてここ
まで復興されたことに、沖縄の人たち
の強さを感じました。

―保田さん

今回の沖縄派遣事業は、平和につい
て改めて考えるきっかけになりました。
スリランカ人の父は、実際に母国
で内紛を経験していて、幼い頃にそ
時のことを話してくれました。父だけ
でなく親戚にもその話を聞いて、平和
について考えを深めたいと思うよう
になりました。

平和に向けて自分で やっていきたいこと

―坂本さん

沖縄での学習を通じて「絶対に戦争
を起こさない」という強い思いが芽生え
ました。今回学んだ戦争の怖さや衝撃
を周囲に伝え、平和について考える人
の輪を広げていきたいと思っています。そ
して、平和な日々を当たり前だと思わ
ず、感謝の気持ちを大切にしたいと思
いました。

―長山さん

日常生活の中で、友達や先生と意見
がぶつかることもあるかもしれませんが、
身近な人との関わりを大切にし、
お互いを尊重し、理解する努力をして
いきたいです。そして、募金活動など
の支援にも関わり、平和の実現に貢献
したいと思っています。



▲参加した中学生たち(首里城公園にて)

―田口さん

私は、戦争がなくなつてほしいと望
んでいます。そのためには、多くの
人が戦争を理解する必要があると思
います。意見や考え方などの違いが戦争を
引き起こす原因の一つでもあるので、
平和の維持には人の話をよく聞き、受
け入れる姿勢が重要だと感じました。

―門間さん

戦争の歴史を風化させてしまうと、
平和に対する感謝や命の尊さが薄れて

しまい、また同じことを繰り返してし
まうかもしれません。何より、80年前
に苦しんだ人々がたくさんいたこと
を、忘れてはいけない気持ちが強くな
りました。

―保田さん

戦争はマイナスのイメージが強く、
普段は友達とあまりそのような話をし
ませんが、3年生の修学旅行では広島
県へ行くので、事前授業などで今回学
んだ平和について友達と話したいと思
いました。そして、宗教や人種、意見
考え方などいろいろな人がいる中で、
差別や非難をすることなく、何でも理
解する気持ちを持った大人になりたい
です。

成果報告会



「中学生沖縄派遣事業」に参加した中
学生同士での交流や、沖縄在住の人と
のディスカッション、遺族の人たちか
らの話を通じて得た学びを、今後の生
活に生かすとともに、友人や次の世代
へ平和の継承を図るため、11月に成果
報告会を開催しました。

詳しい内容は、市ホームページをご
覧ください。



▲成果報告会の様子

「平和の樹」植樹式



本市加盟の平和首長会議で配布して
いる広島の「被爆樹木の苗木(被爆アオ
ギリ二世)」を、平和の象徴として植樹
しました。

被爆に耐えて現在も生き続ける木を
介して、平和について改めて考える機
会とするため、成果報告会の後に「平
和の樹」植樹式を市役所の前庭で開催
しました。



▲「平和の樹」植樹式の様子

小田原市戦後80年 認定事業の紹介

戦後80年を機に、多くの市民が平和
について考える取り組みを「小田原市
戦後80年事業」として認定し、官民連
携で推進しています。

詳しくは
こちら



【特集】戦後80年 未来につなぐ平和のバトン

【特集】戦後80年 未来につなぐ平和のバトン

成果報告会

「中学生沖縄派遣事業」に参加した中学生同士での交流や、沖縄在住の人とのディスカッション、遺族の人たちからの話を通じて得た学びを、今後の生活に生かすとともに、友人や次の世代へ平和の継承を図るため、11月に成果報告会を開催しました。

詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。



▲成果報告会の様子

「平和の樹」植樹式

本市加盟の平和首長会議で配布している広島「被爆樹木の苗木(被爆アオギリ二世)」を、平和の象徴として植樹しました。

被爆に耐えて現在も生き続ける木を介して、平和について改めて考える機会とするため、成果報告会の後に「平和の樹」植樹式を市役所の前庭で開催しました。



▲「平和の樹」植樹式の様子

小田原市戦後80年認定事業の紹介

戦後80年を機に、多くの市民が平和について考える取り組みを「小田原市戦後80年事業」として認定し、官民連携で推進しています。

詳しくはこちら



平和への思い

―長山さん

現地の人から、沖縄の方言で「ヌチドウタカラ(命こそ宝)」という言葉



▲アブチラガマに関するレクチャーを受ける様子

教わりました。この言葉は過酷な状況でも命を大切に、必死に生きてきた人々の強い思いを表しています。ご飯を食べたり、友人と遊んだりする当たり前と思っていた日常が、何よりも貴重なことだと改めて思いました。

―田口さん

多くの犠牲者を出した沖縄戦ですが、現在の那覇市内はとても栄えていて、戦争の面影を感じさせない街並みでした。多くの犠牲を乗り越えてここまで復興されたことに、沖縄の人たちの強さを感じました。

―保田さん

今回の沖縄派遣事業は、平和について改めて考えるきっかけになりました。スリランカ人の父は、実際に母国で内紛を経験していて、幼い頃にその時のことを話してくれました。父だけでなく親戚にもその話を聞いて、平和について考えを深めたいと思うようになりました。

平和に向けて自分でやっていきたいこと

―坂本さん

沖縄での学習を通じて「絶対に戦争を起こさない」という強い思いが芽生えました。今回学んだ戦争の怖さや衝撃を周囲に伝え、平和について考える人の輪を広げていきたいと思っています。そして、平和な日々を当たり前だと思わず、感謝の気持ちを大切にしたいと思いました。

―長山さん

日常生活の中で、友達や先生と意見がぶつかることもあるかもしれませんが、身近な人との関わりを大切にしてお互いを尊重し、理解する努力をしていきたいです。そして、募金活動などの支援にも関わり、平和の実現に貢献したいと思います。



▲参加した中学生たち(首里城公園にて)

―田口さん

私は、戦争がなくなっていってほしいと望んでいます。そのためには、多くの人が戦争を理解する必要があると思います。意見や考え方などの違いが戦争を引き起こす原因の一つでもあるので、平和の維持には人の話をよく聞き、受け入れる姿勢が重要だと感じました。

―門間さん

戦争の歴史を風化させてしまうと、平和に対する感謝や命の尊さが薄れて

派遣事業に参加した中学生の代表5人



県立平塚中等教育学校2年 長山さん

橘中学校2年 坂本さん

城南中学校1年 田口さん

鴨宮中学校3年 門間さん

鴨宮中学校2年 やすだ 保田さん

参加したきっかけ

―坂本さん

以前、家族旅行で長崎県原爆資料館を訪れました。その時に資料館で見た展示品や写真から、戦争の悲惨さを知り、胸が苦しくなりました。もし、自分や大切な家族、友人の命が戦争で失われたら考えると、とても怖くな



▲ひめゆり平和祈念資料館を見学する様子

―沖縄戦から学ぶ命の尊さ―

小田原の中学生がつなぐ「平和の誓い」

り、平和について深く知りたいと思いました。

―門間さん

戦争への関心は漫画がきっかけで、1年ほど前から都内の資料館を巡り、戦争について調べていました。戦時中の人々の思いを知りたいと思い、今回応募しましたが、参加が決まった時はうれしいというよりも、80年前に大勢の人が亡くなった場所に、足を踏み入れることに対して、緊張感を覚えました。

―保田さん

私はスリランカで生まれ、小学6年生の時に日本に来ました。日本の小学校で第二次世界大戦などについて学びましたが、戦争が起こった背景や歴史について知りたいと思いました。

印象に残ったこと

―長山さん

戦時中、目の前に広がる沖縄の美しい海が、約1500隻の軍艦で埋め尽

「戦後80年事業」の一環として行われた「中学生沖縄派遣事業」では、戦争の歴史に触れるため、市内在住の中学生24人が8月に沖縄県を訪問。実際に沖縄戦の舞台となった地で見聞きし、学んだ体験は、彼らにとって命の尊さや平

和への願いを深く感じる時間となりました。

派遣事業に参加した中学生の代表5人に本事業を通じて得られた思いを聞きました。



▲沖縄在住の人たちとディスカッションをする様子

死ぬことが名誉なことだったという話を聞き、とても驚きました。死ぬことは怖いし、私には全く想像できませんでした。

また「沖縄にある米軍の基地についてどう思うか」との質問を受け、戦争が終わった後も、当時の敵国の基地が残り続けていることに、複雑な心境でした。

死ぬことが名誉なことだったという話を聞き、とても驚きました。死ぬことは怖いし、私には全く想像できませんでした。

また「沖縄にある米軍の基地についてどう思うか」との質問を受け、戦争が終わった後も、当時の敵国の基地が残り続けていることに、複雑な心境でした。

しまい、また同じことを繰り返してしまいかもしれません。何より、80年前に苦しんだ人々がたくさんいたことを、忘れてはいけない気持ちが強くなりました。

私が戦争に興味を持ったのは、偶然手にした戦争の漫画でした。歴史を風化させないためにも、将来は漫画家になって作品に残し、一人でも多くの人にきちんと伝えていきたいと思うようになりました。

―保田さん

戦争はマイナスのイメージが強く、普段は友達とあまりそのような話をしませんが、3年生の修学旅行では広島県へ行くので、事前授業などで今回学んだ平和について友達と話したいと思いました。そして、宗教や人種、意見考え方などいろいろな人がいる中で、差別や非難をすることなく、何でも理解する気持ちを持った大人になりたいです。

ちよつと した工夫で 食品ロスゼロ生活

ID P23961 環境政策課 ☎(33)1471

生ごみの約4割が食品ロス

「食品ロス」とは、まだ食べることができたのに、食べ残しや賞味期限切れなどで、食べ切れないまま廃棄される食べ物を指します。

年末年始は、正月料理を買い込み過ぎたり、忘年会や新年会といった、大勢が集まって食事する機会が多くなったりするなど、食品ロスが増えがちです。食品ロスゼロを目指して、買い過ぎや作り過ぎを防ぎ、残った食材は工夫しておいしく活用しましょう。

食品ロスを防ぐには？

●食品ロス防止を意識する

1 必要な分だけ買うようにしよう
安いからといって必要以上の食材を買ってしまうと、使い切ることができず、食品ロスが発生します。

2 冷蔵庫などの収納方法を見直そう
どこに何があるのかを把握できるように、食材の消費期限を切らすことが少なくなります。

3 買った食材を使い切ろう
例えば、事前にカットした野菜や、味付けをした肉などを準備しておくことにより、簡単に料理できると同時に、捨てずに使い切れます。また、買った後すぐに食べない場合は、小分けにして冷凍保存するなど、冷凍庫を活用するのもお勧めです。

●食品を食べ切る

1 家庭の場合
作り過ぎたり、味が合わなかったりなどで、できあがった料理を残してしまふのはもったいないです。そういう時は、余った食材を使ってアレンジを加え、別の料理に作り変えましょう。

食品ロス削減レシピコンテストを開催しました

市では今年度、食品ロス削減レシピコンテストを開催しました。「使わない部分も活用部門」と「残った料理をリメイク部門」の二つの部門で募集し、市内の飲食店や栄養士の審査を経て「食品ロス削減の日」に当たる10月30日に優秀作品が決定しました。

食材を無駄なく使い切る工夫や、余った料理をリメイクするオリジナルのアイデアを参考にしてください。



▲優秀作品はこちら



2 外食の場合

年末年始は、家族や友達と外食する機会が増える時期です。料理は、食べ切ることができる量だけ注文するようにしましょう。残った料理は、お店の人に相談して持ち帰ることも検討しましょう。

市では、小盛りメニューや持ち帰りの対応が可能な店舗を「食べきり協力店」として登録しています。



▲「食べきり協力店」はこちら



湘南ベルマーレフットサルクラブ × 小田原市

生ごみから作った堆肥で寄せ植えを作ろう

段ボールコンポストの店頭実演を行います。(申し込み不要)

日時 12月13日(土)午前9時～正午

場所 小田原百貨店 栢山店

※午前10時30分から、湘南ベルマーレフットサルクラブの選手が寄せ植えを作ります。



段ボールコンポストの作り方はこちら



はこんちゅ

家庭で出た生ごみは、家庭で簡単に処理できます。例えば、土の中の微生物で、肉や魚、野菜などの生ごみを消滅させる「キエーロ」は、臭いや虫の発生が少なく、生ごみが分解された後も土の量が増えないので、取り組みやすいことが特徴です。

また「段ボールコンポスト」を使って堆肥にするのもお勧めです。環境政策課の窓口では初期セットを無料で配布中。市内のスーパーなどでも店頭実演を行っています。

家庭で出た生ごみは？



▲フォームラク市長らとの意見交換の様子

国土の8割が海拔1m未満のモルディブは水没の危機に直面
令和7年1月25日、三の丸ホールで開催された気候変動をテーマにした国際シンポジウムにおいて、駐日モルディブ共和国臨時代理大使から「小島嶼国であるモルディブは、国土の8割が海拔1m未満であり、気候変動による海面上昇によって水没するという国家存続の危機にある」と、切実な窮状が語られました。

さらに、本市との都市間交流を希望しているフォームラク市への訪問依頼

「いま」の行動が未来を決める

モルディブで見た気候変動の現実

ID P40503

岡ゼロカーボン推進課(33)1426

文化政策課(33)1703

や、国家独立60周年記念式典への招待を受けました。そのため、気候変動による危機に直面している現状を知り、

同国の不安や苦しみを分かち合う関係を築き、気候変動対策を私たち一人一人が自分事として取り組む契機とするため、7月に市長がフォームラク市と首都マレ市を訪問しました。

フォームラク市は国内で3番目に人口が多く、赤道直下に位置する都市です。市内では、海岸線の後退が進んでいて、過去約50年間でおよそ40m後退し、既に島の3%に及ぶ約15ヘクタールの土地が失われたと推測されています。

海岸線の後退により土地が減少 初の気候変動対策を提唱した国

実際に海岸へ出てみると、砂浜から1段上がった部分にヤシの木などが立っているものの、その根はむき出しとなり、中には横倒しになった幹の途中から、新たに上方へ伸びている木もありました。こうした状況を防ぐために、モルディブ政府は後退が著しい部分の護岸整備を行っています。港では、高さ5mほどの堤防を乗り越えそう



▲ビリンギリ島の海岸線の様子

勢いで度々波しぶきが上がり、海面が上昇していることを実感できます。海岸線の後退は、今回訪れたマレ市のマレ島や、ビリンギリ島でも同様に起こっており、それぞれ消波ブロックや土のうなどで対策を講じていました。

モルディブは昭和62年の国連総会において、気候変動対策の必要性を初めて提唱した国で、これが契機となり、気候変動問題が特定の国だけでなく、地球規模の深刻な問題と広く認識され、今日では科学的根拠に基づき世界中で共有されています。

こうした経過を踏まえ、気候変動という地球規模の課題に対し、私たちに何ができるのか、考えを巡らせて行動していく必要があります。



▲現地高校生との懇談の様子

フォームラク市で、日本の小中高一貫校に相当する公立学校「GNアトール教育センター」を訪問し、科学・環境クラブの高校生代表10人の皆さんから活動紹介を受け、懇談しました。当クラブは中学・高校生で構成され、科学実験や調査研究、科学フェアの開催、地域活動への参加など多岐にわたる活動を行っています。島内のビーチの傾斜がどう変化しているか、水質に問題がないかなどを調査した

科学・環境クラブに所属する 高校生との懇談

現地の学生×市長

インド洋に浮かぶ約1200の小さな島々から成るモルディブ。市は、国際交流イベントへの参加や東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの協定締結など、これまで10年来の交流を続けてきました。モルディブは青い海にサンゴ礁、白い

砂浜、水上コテージといったリゾート地として有名ですが、現在、気候変動による海面上昇によって、島の多くが水没の危機にあります。同国を訪問して、実際に目の当たりにした現実や、今後の交流についてお知らせします。

り、ペットボトルのキャップを活用したワークショップなどを実施したりしています。

代表の皆さんからは「気候変動の影響で問題となっている、海岸浸食を科学の力で解決していきたい」「ここで学んだことを生かし、将来は環境系のエンジニアになりたい」「日本との友情を育み、気候変動などの共通課題解決のため協力していきたい」といった意見や抱負がありました。また「今後、フォームラク市と小田原市の間で若い人たちが交流するとしたら、ぜひ参加したい」「ホストファミリーとしても受け入れたい」などの前向きな意見もありました。

今後、将来的な相互交流を視野に、若者同士が学び合える方策を検討します。

訪問の
詳細(報告書)は
こちら



市長動画でも
報告しています





令和8年5月「市立総合医療センター」の開院に向けて

無痛分娩などの

新たな取り組みを開始します

ID P33342

問医事課(34)3175

市立病院では、令和8年5月の新病院の開院に先駆けて、さまざまな取り組みを始めています。
産婦人科では、妊婦さんの負担を軽減するため、新たに無痛分娩や産後リハビリテーションを始める他、アメニティーセットも導入します。

無痛分娩を開始

無痛分娩とは、出産時の痛みを軽減するために麻酔を用いる分娩方法です。痛みを完全に取り除くものではありませんが、麻酔で強い痛みを緩和すること、母体への負担を軽減し、より穏やかな出産を可能にします。痛みが軽減されることで、出産に集中しやすくなり、赤ちゃんとの初めての対面を落ち着いた気持ちで迎えることができるなど、痛みに対する不安が強い人

や、体力的に不安がある人にとって、大きな支えとなる選択肢です。

市立病院では、硬膜外麻酔という麻酔法を採用し、麻酔処置は、麻酔科専門医が安全性を最優先に、妊婦さんの状態を丁寧に確認しながら行います。また、産科・麻酔科医師、助産師がそろった環境で出産を進めるため、平日の計画分娩として対応します。医師の体制や分娩状況により、母子の安全が確保できないと判断した場合、無痛分娩を実施できないことがあります。

出産は、命と向き合うかけがえのない瞬間です。市立病院では、妊婦さん一人一人の思いに寄り添いながら、総合病院、周産期に係る高度な医療行為を担う「地域周産期母子医療センター」ならではの充実した医療体制の下、安全で安心な出産環境を提供します。

※当初は、経産婦さんを対象に開始します。

※費用は、分娩費用に15万円が加算されます。

1月から「産後リハビリテーション」が始まります

出産後の母体は、回復の途中にあります。産後のリハビリテーションは「早く元の体に戻りたい」「腰や骨盤の違和感が気になる」といった不安を取り除くため、体の回復を助け、育児をより快適に楽しむための大切なステップです。市立病院では、令和8年1月から新たに開始します。

出産後の入院中に、女性理学療法士が訪室し、母体の回復をサポートするリハビリテーションを行います。また、

診療科の紹介

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



耳鼻咽喉科・頭頸部外科
田中 義人医師

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、常勤医3人に加え、非常勤の医師が月曜日以外の各曜日午前1人ずつの体制で診療を行っています。外来は平日午前、手術は火曜日から金曜日まで行っており、的確な診断により、皆さんが安心して治療を受けられるよう努めています。

新生児の聴力検査について

当院では新生児に対して聴覚スクリーニング(耳の聞こえの検査)が実施可能です。スクリーニングで要精密検査となった場合も当院で精査まで行い、また、適切なタイミングで補聴器の装用までを一連の流れで行えますので、余分な検査や他院への紹介などもなく、患者や家族の負担の少ない医療の提供が可能です。

新病院開院に当たり

新病院開院に当たり、各外来診療ブースに内視鏡が増設される予定です。内視鏡の待ち時間が減り、よりスムーズな診療が可能になります。従来通り手術日程は変わりませんが、手術室自体は増設される予定ですので、緊急手術への対応能力も高まります。

産後に起こりやすい変化

- ・骨盤周りの不安定感
- ・腰痛
- ・肩こり
- ・尿もれ
- ・骨盤底筋の弱まり
- ・体力低下や疲れやすさ
- ・手首の痛み

適切なケアで
予防・改善することが大切

産後リハビリで行うこと

- ・姿勢や呼吸方法の改善
- ・授乳や抱っこなどの負担を減らす工夫
- ・骨盤底筋トレーニング
- ・自宅でも継続できるストレッチや軽い運動

お母さんの体を整えて
育児を楽しく続ける力に

特定保健指導の対象者

健診を受けた40歳以上の人のうち

腹囲 男性 85cm以上
女性 90cm以上

or

BMI 25以上

+

以下の追加リスクが一つ以上ある人

血圧

血糖

脂質

喫煙

※喫煙については、血圧、血糖、脂質のリスクが一つ以上の場合にのみ追加。

特定保健指導対象者に該当

※市国民健康保険に加入する40～74歳の人
が対象。

※既に血圧や血糖、脂質に係る薬を服用し
ている人は対象外です。

特定保健指導の お知らせは 届いていますか？

特定保健指導の対象者には、利用に関するお知らせを、特定健診の受診後、約3～4カ月以内に封筒でお送りしています。内容を確認の上、記載の電話番号に電話、または二次元コードからお申し込みください。

保健師 本田



特定保健指導を 利用した2人に1人が 結果を出しています！

市内在住・50歳代・男性の例

指導の流れ 初回面接→(3週間後)電話支援→(2週間後)電話支援→(1カ月後)電話支援→(3カ月後)最終確認

特定健診
受診時

特定保健
指導終了時

約1年後

腹囲 86.4cm→ 84.0cm→ 83.0cm

体重 71.1kg→ 70.0kg→ 66.0kg

BMI 25.1 → 24.7 → 23.2

ウォーキングから始め、体重が減り始めたタイミングで妻の協力を得て、食事内容を見直しました。管理栄養士から定期的に連絡があることで、生活習慣や体重を意識する機会が増えました。結果、健診時から5～6kg減少し、現在も維持しています。今年の健診では採血結果も改善。今後も健康のため、この習慣を続けたいと思います。



メタボとは、生活習慣の乱れ(運動不足、食べ過ぎなどの食生活の乱れ、アルコールの過剰摂取、睡眠不足、喫煙など)により、お腹周りに内臓脂肪が蓄積することに加え、高血圧症や糖

特定健診の結果、腹囲またはBMI(肥満度を表す指標)が基準値を超えている場合、メタボリック症候群(メタボ)が疑われます。

生活習慣改善の伴走支援 「特定保健指導」

尿病、脂質異常症などのリスクが重
なっている状態をいいます。

特定保健指導では、メタボやその予
備群に該当した人を対象に、保健師や
管理栄養士が、健康づくりに関する専
門的な知識で伴走支援することで、対
象者のやる気を引き出し、生活習慣の
改善に導きます。

対象となった人は、約3カ月間、保
健師や管理栄養士と一緒に、自分の仕
事やライフスタイルなどに合わせた食
事や身体活動などの生活習慣の改善目

特定保健指導を受けないと… メタボから始まる 動脈硬化や病気の危険が！

メタボは、高血圧症や糖尿病、脂質
異常症などの生活習慣病を発症・進行
させるだけではなく、動脈硬化を急激
に進行させ、脳卒中や心臓病などの命
に関わる病気を引き起こす恐れがある
ため、放置してしまうと非常に危険で
す。

標を立て、その実践に取り組みます。

ID P40418 図健康づくり課 (47) 4724

特定保健指導で生活習慣病予防



「人生100年時代」といわれる現代
を健康に生きるためには、毎日の生
活習慣が重要です。

特定健診の受診結果により、腹囲ま
たはBMIが基準値を超え、さらに
採血の結果も基準値以上である場合
「特定保健指導」の利用が必要です。

特定保健指導では、異常が見られた
項目に応じて、専門家が効果的な改
善方法を提案し、共に生活習慣の改
善に取り組めます。

働き方やライフスタイルが多様な時
代だからこそ、自分に合う健康づく
りを専門家と一緒に進めましょう。

健康づくりに関する 情報を発信中！

健診結果にかかわらず、日頃
から健康づくりに関心を持ち、
生活習慣の改善
について取り組
むことで、生活
習慣病の予防に
つながります。



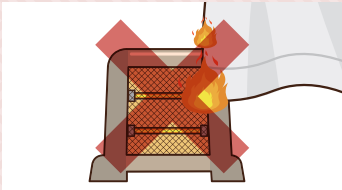
▲詳しくはこちら

命を守る10のポイント

4つの習慣



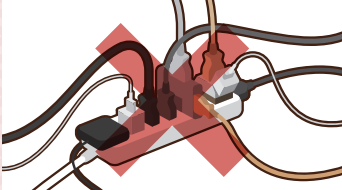
①寝たばこは絶対にしない、させない。



②ストーブの周囲に燃えやすいものを置かない。

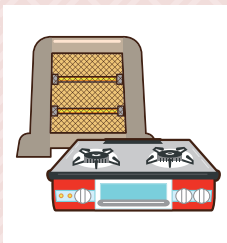


③コンロを使う時は火のそばから離れない。

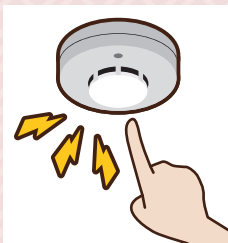


④コンセントのほこりを取り、不要なプラグは抜く。

6つの対策



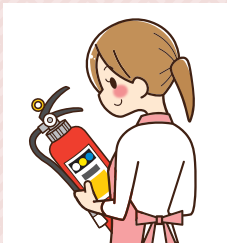
①ストーブやコンロなどは、安全装置が付いた機器を使用する。



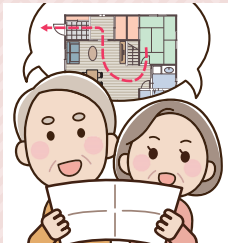
②住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。



③部屋を整理整頓し、寝具や衣類、カーテンは、防災品を使用する。



④消火器などを設置し、使い方を確認しておく。



⑤避難方法を確認し、避難経路を常に確保しておく。



⑥防火防災訓練への参加など、地域で防火対策を行う。

年の瀬の火災にご用心

ID P40485
ID P00501
周警防計画課 ☎(49)4434
周予防課 ☎(49)4427

歳末火災特別警戒

市消防本部・消防署・消防団では、歳末に向けて、警戒警備体制の強化と市民の防火意識を高めるために、広報活動を行います。

期間 12月26日(金)～31日(水)

消防出初式

消防職団員の士気高揚を図り、火災や災害のない一年を願っています。

日時 令和8年1月11日(日)

午前9時30分～午後0時10分

場所 三の丸ホール、お堀端通り他

内容 式典、幼年消防クラブ演技、部隊観閲、女性分団操法、消防車両分列行進、古式消防はしご乗り、一斉放水、消防車両展示

※午前10時30分から午後0時30分まで、お堀端通りを車両通行止めになります。

ます。



▲一斉放水の様子

空気が乾燥し、火災が発生しやすくなる年末年始は、家庭でのコンロやストーブなど、火の取り扱いには細心の注意を払いましょう。特に就寝前の火の元確認を忘れずに。安全・安心で、火災のない新年を迎えましょう。

みんなでつくる地域コミュニティ

顔の見える関係で共に助け合い、支え合っていくために欠かせない「地域コミュニティ」。地域の負担を減らし、活動を支え、担い手をつないでいくためのさまざまな取り組みを紹介します。

ID P20042 周地域政策課 ☎(33)1389

第4回 地域活動の新しい一歩を支援する「地域アクションいきいき補助金」

令和7年度に創設した「地域アクションいきいき補助金」は、地域活動の一歩目を踏み出す支援策として、新たな事業や試験的な事業に対して補助する制度です。

今回は、この制度を活用して新たに活動を始めた、三つの活動団体の声を聞きました。地域の課題解決への取り組みに興味がある人は、地域政策課にお気軽に相談ください。



▲補助制度の概要はこちら

豊川地区の飯泉1区「いはずみキッズ」

子ども会の解散に伴う後継として発足しました。自治会の夏祭りでは、鴨宮中学校の生徒と共に企画段階から関わり、当日のブース出展では、めんこ遊びや風車作りなどを提供。150人以上の子どもたちでにぎわいました。これからも、子どもたちと力を合わせて、地域の皆さんに楽しんでいただける活動を広げていきたいです。



▲出展ブースの様子



いはずみキッズ 加藤さん

山王網一色地区「山王青年会」

子ども会の衰退や、地域活動の担い手不足などの地域課題に対応するため、青年会を立ち上げました。今年度は、バーベキューや秋祭りを開催し、年明けには餅つき大会を予定しています。イベントを通じて、地域のつながりを強くして、一緒に地域を盛り上げたいです。



▲秋祭りの様子



山王青年会 金田さん

前羽地区「前羽カフェの会」

地域の高齢者が集まれる居場所づくりを始めました。今年度は、隔月で高齢者サロンや茶話会を開催している他、市内の福祉事業所と連携し、移動販売も開催しています。今後は、高齢者に限らず、多世代が気軽に集まれる居場所づくりにも取り組みたいです。



▲駐在所員による防犯講話の様子



前羽カフェの会 北村さん

小田原Lエール

女性活躍推進優良企業

Vol.26

小田原Lエールは、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる市内の企業などを、優良企業として認定する制度です。認定企業を順次紹介します。

関人権・男女共同参画課 ☎33-1725



市ホームページにも掲載しています。



山安

当社は、文久3年(1863年)創業以来、160年以上にわたり多くの食卓を支えてきた老舗の干物屋です。「女性が輝ける職場づくり」に力を入れており、仕事と家庭を両立できる柔軟な勤務体制を整え、子育て世代のスタッフも安心して働ける環境づくりを進めています。出産などで退社した人の再雇用にも積極的に取り組み、多様な働き方をしている女性がいることを前提に、業務の組み立てをしています。また、昇進・昇格の評価基準を見直し、女性管理職候補に対する研修も実施しています。

伝統と女性の力を融合し、次の世代に受け継がれる味を届けるため、これからも挑戦を続けていきます。



セカンドレグ
2nd-Leg

当社は、美容サロンを運営しており、女性美容師が活躍できる環境づくりに力を入れています。管理職やリーダー職への登用を積極的に推進し、多様な視点を経営に生かしています。また、産休・育休の取得実績も高く、社員が安心してライフイベントを迎えられるようにサポート体制を整える他、育休から職場復帰への不安を軽減するための時短勤務や有給休暇など、多様な働き方が選択できる体制を整えています。



社員一人一人のキャリアとプライベートの両立を大切に、長く安心して働ける職場環境を目指し、美容業界一、働きやすくなりがいのある会社を追求していきます。

アーバンデザインで読み解く小田原

UDCOD

今回お話を聞いたのは…



魅力がいっぱいのまち、小田原。UDCOD(アーバンデザインセンター小田原)に所属する都市空間デザインの専門家が見る、小田原の特徴を教えてください。

ID P38501 岡都市政策課 ☎33-1758

東海大学建築都市学部
准教授 稲益 祐太さん

Vol.

4

小田原という「群島」

誰もが都市の形成を担っている

私が専門とする都市史は、都市の形成過程を解明する研究です。都市は、著名な建築家や偉人だけではなく、各時代の人々が懸命に生き、多くの人の手でつくり上げてきたものです。この積み重ねこそが都市の個性や魅力となります。つまり、誰もが魅力的な都市形成の一端を担っているのです。

小田原での研究が、市民の皆さんにとって地域をより深く理解する機会となるように、記憶に新しく現在のまちの中に痕跡が多く残る、昭和の歴史を中心に調査をしています。



▲国府津では、まちなみの調査を実施

島ごとの特徴から小田原を解き明かす

小田原には、閑静な住宅街や港町、農村など、異なる個性を持つエリアがあります。私には、それらの各エリアが一つ一つの島のように見えます。そして、それらの島々が関係し合うことで小田原という群島を形成しています。小田原の特徴は、この多様さにあるのではないのでしょうか。

一方で、多様なために全体を捉えにくいという側面もあります。小さな島ごとに特徴を見ていくことによって、小田原全体の姿を解き明かすことにつながると考えています。



詳しく読む▶

誠実 信頼 希望

加藤 憲一

「チーム小田原消防」の絆

火災や災害から市民のいのちと財産を守る上で、地域社会になくてはならない存在が「消防」。小田原の消防は、市職員で編成される「小田原市消防」と、市民の立場で活動する「小田原市消防団」という大きく二つの組織で構成されます。この両者は、実際の火災や災害対応などの現場で役割分担し緊密に連携していますが、その絆をさらに強める機会がこの10月にありました。それは消防団女性分団の全国大会出場です。

近年、消防団の団員確保が全国的に課題となっている中、消防団員として活躍する女性が増えています。各地で結成されている女性消防分団などが一堂に会し消火技術を競う「第26回全国女性消防操法大会」が横浜市で開催され、そこに神奈川県代表として市消防団女性分団(愛称・「梅小町」)が出場しました。結成10年目にして、初めての全国大会出場。小田原の場合、女性分団は火災現場での活動というよりも、平時の啓発などが主たる任務のため、実際の消火

活動にまつわる訓練などはあまり行われていませんでした。大会出場が決まってきた1年近く、ある意味ゼロから消火作業(軽可搬ポンプ操法)の訓練を行うことになったのです。

不安を抱えながら開始された訓練の指導を担当したのは、市消防の若手職員たち。また数回に及んだ訓練では、市内22の各消防分団がローテーションを組んできめ細かくサポート。真夏の酷暑の中、雨降りの日など、仕事や家事などをやりくりして厳しい訓練を重ねた女性分団員たちを、こうした職員たちがしつかり支えたのでした。

秋晴れの青空の下での本番。応援してきた消防関係者が見守る中、女性分団員たちは見事なチームワークで訓練の成果を発揮。緊張から解き放たれ、やりきった満足感と安堵(あんど)の中で涙を流しながら抱き合い、お互いの健闘を讃え合っていました。

後日行われた報告会では、市消防職員および消防団幹部、さらには22の消防分団長も全員参加し、それぞれが果たした役割をねぎらい、苦労話にも花が咲き、笑いも涙もあるとても素敵な会に。この打ち解けた空気感に、男性中心で動いてきたこれまでとは異なる「絆」の芽生えを感じました。

女性分団の活躍を支えることを通じて、小田原市民を守る「チーム小田原消防」に新しい時代が訪れたと感じられた、とても嬉しい出来事でした。

あすの暮らしと出会う

おだわらいふ



●市ホームページのサイト内検索に **ID** の「P+5桁の数」を入力し検索すると、詳しい内容がご覧になれます。

公式X(旧ツイッター)も
チェック!
@Odawara_City



日 日時 **期** 期間 **時** 時間 **場** 場所 **内** 内容 **対** 対象 **定** 定員
費 費用(記載のないものは無料) **持** 持ち物 **出** 出演 **任** 任期 **選** 選考
額 支給額・謝礼 **講** 講師 **申** 申し込み(期限があるものは必着)
E Eメール **主** 主催 **関** 関係課 **問** 問い合わせ

- 募集記事で、定員制・申込先着順のものについては、記載がない限り申込開始日は**12月10日(水)**からとします。
- 担当部署名の前に**(申込)**とある場合は、電話で申し込みができます。市外局番がないものは(0465)です。
- 市役所への郵便物は、記事に指定がある場合を除き、「〒250-8555 小田原市〇〇課(室)」で届きます。

お知らせ

尊徳記念館臨時休館

ID P40142 尊徳記念館 ☎36-2381
館内メンテナンスと設備安全点検のため、12月22日(月)は全館臨時休館となります。図書の返却については、返却BOXをご利用ください。

12月4日～10日は人権週間

ID P23501 人権・男女共同参画課 ☎33-1725
12月4日(木)～10日(水)は「人権週間」です。人権について考えることから始めましょう。
人権啓発キャッチコピー
「誰か」のことじゃない。みんなの人権110番
人権相談ダイヤル ☎0570-003-110
※相談は、法務局職員または人権擁護委員がお受けします。秘密厳守。

保険料の納付

- ID P36492** ①保険課 ☎33-1834
②高齢介護課 ☎33-1840
③保険課 ☎33-1843

次の保険料の納期限は1月5日(月)です。期限までに納めてください。口座振替をご利用の人は、12月30日(火)に引き落とされますので、引き落とし日の前日までに預貯金残高をご確認ください。

- ①国民健康保険料第7期
②介護保険料第7期
③後期高齢者医療保険料第6期

マイナンバーカード出張申請

ID P32243 戸籍住民課 ☎33-1384

- 日** ①12月19日(金)・24日(水)
②12月17日(水)・25日(木)
③12月18日(木)・23日(火)
10:00～16:00
(12:00～13:00を除く)
場 ①こゆるぎ住民窓口
②マロニエ2階集会室203
③いずみ3階集会室
持 ・マイナンバーカード交付申請書
・通知カード
・本人確認書類2点以上
※顔写真付き本人確認書類を含む2点を持参で、カードを郵送で受け取ることができます。
※顔写真は無料で撮影します。

おだわら・はこね家族会

ID P18187 高齢介護課 ☎33-1864
認知症の介護者同士で、介護の悩みや困り事などについて話します。
日 12月19日(金) 10:00～12:00
場 市役所6階601会議室
対 認知症の家族を介護している人
※申し込み不要

第23回カナガワビエンナーレ国際児童画展

ID P13668 文化政策課 ☎33-1479
今回は、72の国と地域および県内と外国人学校から1万743点の作品が集まりました。その中から世界の子どもたちのエネルギー溢れる受賞作品と県西地域在住の子どもたちの入賞作品約70点を展示します。
期 12月12日(金)～21日(日)
※12月15日(月)休館
時 9:00～18:00
場 三の丸ホール1階ギャラリー回廊

固定資産税の変更

ID P18577 資産税課 土地評価係 ☎33-1365
家屋評価係 ☎33-1371
固定資産税は、年の途中で売買などにより土地や建物の所有者が変わった場合も、その年の1月1日時点での所有者に課税されます。
土地や建物の用途・形状に変更が生じた場合、次年度の税額が変わる可能性があるので、ご連絡ください。
●**土地・建物の使い方を変更した場合**
例)「畑」から「駐車場」に変更、「店舗」から「住宅」に変更など
●**建物(車庫や物置を含む)を取り壊した場合、または増築した場合**

第7回箱根ジオパークフォトコンテスト作品展

箱根ジオパーク推進協議会(県西地域県政総合センター商工観光課) ☎32-8908
箱根ジオパークの魅力を表現したフォトコンテストの入賞作品を展示します。
●**市役所2階ロビー**
期 12月17日(水)～24日(水)
時 8:30～17:15
●**ハルネ小田原うめまる広場**
期 1月6日(火)～13日(火)
時 10:00～20:00
関 観光課



▲箱根ジオパーク推進協議会ホームページ

生誕120年記念特別展 横田七郎(Part I)

ID P37203 郷土文化館 ☎23-1377
本市を拠点として活躍し、市内に二宮尊徳回村の像など多くの野外彫刻が残る、彫刻家・版画家の横田七郎の作品約40点を展示します。
期 12月18日(木)～24日(水)
時 10:00～17:00
場 三の丸ホール展示室

としょかんお楽しみぶくろ

ID P19392 中央図書館(かもめ) ☎49-7800
本の楽しさを知ってもらうため「お楽しみぶくろ」に本を詰めました。中身は借りてからのお楽しみです。幼児向け、児童向けの他、一般(中・高生含む)向けも用意しています。1回の貸し出しは、1人1セットです。
期 12月13日(土)～なくなり次第終了
場 中央図書館(かもめ)

年末の交通事故防止運動キャンペーン

ID P34827 地域安全課 ☎33-1396
12月11日(木)～20日(土)は「年末の交通事故防止運動期間」です。交通安全の大切さを知ってもらうため、キャンペーンを実施します。
日 12月13日(土) 10:00～16:00
内 子どもに人気のパトカーなどの乗車体験、啓発品(反射材)などの配布
場 フレスポ小田原シティーモール南館1階宝くじ売り場横
主 交通安全対策協議会

久野霊園行き直通路線バスの運行(12月)

ID P29394 伊豆箱根バス ☎34-0333
みどり公園課 ☎33-1583
年末のお参りに合わせて、小田原駅から久野霊園内各停留所にバスが運行されます。
日 12月28日(日)
発車場所と時刻

小田原駅西口4番	久野霊園
9:00	10:20
11:00	12:20

費 (片道)大人370円、小人190円
(霊園内各停留所間)大人200円、小人100円
※天候により運行を休止する場合があります。運行状況はバス会社にお問い合わせください。

2025年度版 おだわら食べ歩きグルメマップ発行

ID P36909 健康づくり課 ☎47-4723
小田原市民は食塩の摂取量が多く、野菜が不足しがちです。そこで、市内の協力飲食店に「野菜たっぷりメニュー」や「適塩メニュー」の提供を依頼し、店舗を紹介するマップを作成しました。2025年度のマップは、12月1日(月)から市のホームページで公開し、保健センター内の「すこやか健康コーナーおだわら」で配布します。

ノロウイルス食中毒警戒情報発令中!

小田原保健福祉事務所 ☎32-8000
ノロウイルスは、非常に感染力が強く、人から人へ感染する他、感染者の便や吐しゃ物から人の手を介した食品への二次汚染により、嘔吐、下痢、発熱などを引き起こすことがあります。手洗いや調理器具の洗浄・消毒など、4つのポイント【持ち込まない・やっつける・つけない・拡げない】を実践し、ノロウイルス食中毒を予防しましょう。

関 健康づくり課

図書館を使った調べる学習コンクール入選作品

ID P40353 中央図書館(かもめ) ☎49-7800
市内小学校の児童から21点の作品が寄せられ、9点の入選作品が決定しました。中央図書館(かもめ)の児童コーナーで、入選作品の複製を展示します。(敬称略)

- 市長賞**
「じゃんけんに勝ちたい 見つけよう 私のじゃんけん必勝法」
岩井 葉楠(芦子小3年)
 - 教育長賞**
「おいしいやきいもをつくるぞ!!」
脇阪 拓歩(町田小2年)
 - 図書館長賞**
「良いの? 悪いの? きょうりゅうの頭」
相場 智志(芦子小3年)
- ※その他、奨励賞6点
展示
期 12月2日(火)～23日(火)



お知らせ

令和7年度 带状疱疹定期予防接種 早めの接種をご検討ください！

ID P39552 健康づくり課 ☎47-0828

令和7年度带状疱疹定期予防接種は、3月31日(火)で終了します。定期接種として带状疱疹予防接種を受けることのできる機会は1度のみです。
※不活化ワクチンについては、2回接種(2カ月間隔)のため、1回目を1月中旬に接種する必要があります。

献血

ID P17481 健康づくり課 ☎47-0828

日 ①12月2日(火) 10:00～12:00、13:30～16:00
②12月13日(土)・28日(日)・31日(水) 10:00～12:00、13:45～16:00
③12月20日(土) 10:00～12:00、13:45～16:00
④12月21日(日) 10:00～12:00、13:45～16:00

場 ①小田原警察署②ダイナシティイースト③ミナカ小田原④フレスポ小田原シティーモール

小田原みかんわいんを限定販売

小田原酒販協同組合 ☎24-2271

市内産「早摘みみかん」のフレッシュな香りと、ほのかな甘酸っぱさが口の中に広がる「みかんわいん」を数量限定で販売します。市内組合加盟店で購入できます。

数量 約3千本 **価格** 1430円(720ml)

関 農政課

令和8年はたちのつどい

ID P40239 青少年課 ☎33-1723

20歳を迎える皆さん、おめでとうございませう。皆さんの将来を祝い「はたちのつどい」を開催します。

日 1月12日(祝)

①10:30～11:00 (受け付け10:00～) 川西地区(城山、白鷗、白山、城南、泉、城北中学校区)

②13:00～13:30 (受け付け12:30～) 川東地区(鴨宮、千代、国府津、酒匂、橘中学校区)、その他(私立中学校卒業生や支援学校(旧:養護学校)などの卒業生、中学校卒業後に市内に転入された人)

場 三の丸ホール大ホール

対 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの人

令和8年度幼児教育・保育の無償化について

ID P32593 保育課 ☎33-1451

12月1日(月)から、認可外保育施設などの利用に関する無償化の認定申請を受け付けます。認定を受けることで、対象サービスの利用料が上限額まで無償化されます。

因 対象者と無償化上限額

- ・3～5歳の子どもは月額3万7千円
- ・0～2歳の住民税非課税世帯の子どもは月額4万2千円

対象サービス

- ・認可外保育施設
- ・一時預かり事業
- ・病児・病後児保育事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業

対 幼稚園、保育所、認定こども園などを利用できていない人
※保護者に「保育を必要とする事由」が必要です。

申 市役所5階保育課に直接
※幼稚園の利用に係る無償化の認定申請は、各施設で受け付けています。
※申請日から前の日付にさかのぼっての認定はできません。

父子家庭援護事業について

社会福祉協議会 ☎35-4000

共同募金事業の一つとして、5歳以上18歳以下の子を養育している父子家庭に図書カードを贈呈しています。

期 1月9日(金)まで

対 市内在住で平成19年4月2日～令和2年4月1日生まれの子を養育している父子家庭

申 電話(平日8:30～17:15、土・日曜日、祝日、12月27日(土)～1月4日(日)は除く)で連絡後、申請書を郵送で

関 福祉政策課

募集

映画「二宮金次郎」上映会

ID P40247 **申込** 尊徳記念館 ☎36-2381

令和元年に制作された映画「二宮金次郎」の上映会を開催します。

日 1月24日(土) 10:00～12:00 (開場9:30)、14:00～16:00 (開場13:30)

場 尊徳記念館

対 小学生以上の人60人・申込先着順

申 12月23日(火)から、直接または電話で

年末年始の市役所業務

ID P39062 職員課 ☎33-1241

12月27日(土)～1月4日(日)は、市の一般業務はお休みします。火曜日に実施している19:00までの窓口延長サービス(市役所2階戸籍住民課で実施)は、年内は12月23日(火)まで行い、1月は6日(火)から再開します。市の施設などの休業日は、3ページをご覧ください。ご不明な点は、事前にお問い合わせください。

戸籍・住民票関係

●**戸籍に関する届け出(出生・婚姻など)**
市役所1階守衛室で、終日受け付けます。
※死亡届の受付時間は8:30～17:00
問 守衛室 ☎33-1822

●**土・日曜日の住民票の写しなどの交付**
日 12月27日(土)・28日(日)、1月4日(日)
場 マロニエ、アークロード
※戸籍証明書、マイナンバーカードなどの交付はできません。
※戸籍の附票、身分証明書または税証明の交付を希望される場合は、12月26日(金)15:00までに、戸籍住民課または資産税課にご連絡ください。
※証明書コンビニ交付サービスは、年内は12月28日(日)まで、年始は1月4日(日)からです(戸籍証明書は、年内は12月26日(金)まで、年始は1月5日(月)からです)。
問 戸籍の附票など 戸籍住民課 ☎33-1386
税証明 資産税課 ☎33-1361

水道

●**水道の修理について**
問 小田原水道サービスセンター ☎42-2882

●**転出精算、水道料金の納付などについて** **ID P23907**
問 上下水道局料金センター ☎41-1211

年内は12月28日(日)まで行い、年始は1月4日(日)から再開します(日曜日の窓口営業時間は17:00まで)。
※12月29日(月)～1月3日(土)は、インターネットによる受け付けのみとなり、電話による転出精算などの手続きはできません。
※水道料金の納付は、バーコードの印字がある納付書であれば、コンビニで納付できます(納期限の過ぎた納付書は除く)。
※橘地区は県営水道お客さまコールセンター(☎0570-00-5959)にお問い合わせください(12月28日(日)～1月4日(日)を除く)。

下水道

●**下水道施設の異常など**
問 小田原下水道サービス ☎46-9932

納付窓口

市役所2階の公金収納窓口は12月26日(金)16:00まで行い、1月5日(月)から再開します。
市税などの収納は、次の金融機関で12月30日(火)まで取り扱います。
●横浜銀行 ●スルガ銀行 ●さがみ信用金庫 ●静岡銀行 ●静岡中央銀行 ●中南信用金庫 ●中央労働金庫 ●中栄信用金庫 ●かながわ西湘農業協同組合 ●小田原第一信用組合 ●ゆうちょ銀行・郵便局
※市税や国民健康保険料、清掃手数料、保育所保育料、学校給食費は、バーコードの印字がある納付書であれば、コンビニ、スマホアプリの他、情報端末(MMK)が設置されているスーパーマーケットやドラッグストアなどで納付できます。
※市税のうち、納付書に地方税統一QRコードが印刷されているものは、上記の金融機関の他、全国で対応の金融機関や電子納付でも納付ができます。詳しい取扱金融機関は、地方税共同機構のホームページでご確認ください。



ごみ収集など

●**「燃せる」ごみの収集**
月・木曜日の収集地区は12月29日(月)まで行い、1月5日(月)から再開します。火・金曜日の収集地区は12月30日(火)まで行い、1月6日(火)から再開します。
※その他のごみの収集は「ごみと資源の収集日カレンダー」でご確認ください。
※なお、年末年始は通常収集している時間と異なる場合がありますので、必ずごみは8:30までに出示してください。

●**リサイクルセンター(大型ごみ)の電話受け付けと収集**
年内は12月26日(金)まで行い、年始は1月5日(月)から再開します。大型ごみの収集依頼が多くなりますので、お早めに電話申し込みしてください。

●**ごみの持ち込み**
12月29日(月)、30日(火)は15:00まで受け付けます。年始は1月5日(月)から再開します。廃木材の持ち込みは、12月26日(金)まで行い、1月5日(月)から再開します(大量の場合は、事前に予約してください)。

●**犬猫などの死体の受け付け・収集**
1月1日(祝)は行いません。
問 環境事業センター リサイクルセンター(大型ごみ) ☎32-1153
ごみの持ち込み ☎34-7325
犬猫などの死体の受け付け・収集 ☎34-7366

(×が休み、▲15:00まで)

施設など			日程など	12月							1月					問い合わせ先			
				22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	1 (祝)	2 (金)			3 (土)	4 (日)
戸籍・住民票関係	戸籍住民課、いずみ住民窓口、こゆるぎ住民窓口	2ページ 参照					×	×	×	×	×	×	×	×	×		戸籍住民課	☎33-1386	
	マロニエ住民窓口、アークロード市民窓口									×	×	×	×	×	×				
水道料金／下水道使用料	上下水道局料金センター									×	×	×	×	×	×		上下水道局料金センター	☎41-1211	
納付窓口	市役所の指定金融機関派出所							×	×	×	×	×	×	×	×	×	出納室	☎33-1635	
ごみ・し尿	ごみの持ち込み						×	×	▲	▲	×	×	×	×	×		環境事業センター	☎34-7325	
	し尿収集						×	×	×	×	×	×	×	×	×		(株)小田原衛生公社	☎35-3224	
医療関係	保健センター(休日・夜間急患診療所は8ページ参照)								×	×	×	×	×	×			保健センター	☎47-1231	
	市立病院							×	×	×	×	×	×	×	×		市立病院	☎34-3175	
	片浦診療所			×		×		×	×	×	×	×	×	×	×		片浦診療所	☎29-0012	
タウンセンター	川東タウンセンターマロニエ		×						×	×	×	×	×	×	×	×	マロニエ	☎47-1515	
	城北タウンセンターいずみ		×						×	×	×	×	×	×	×	×	いずみ	☎37-9111	
	橘タウンセンターこゆるぎ		×						×	×	×	×	×	×	×	×	こゆるぎ	☎43-0200	
文化教育施設	小田原三の丸ホール									×	×	×	×	×	×	×	三の丸ホール	☎20-4152	
	旧松本剛吉別邸		×	×					×	×	×	×	×	×	×	×	旧松本剛吉別邸	☎20-5693	
	皆春荘		×	×					×	×	×	×	×	×	×	×	皆春荘	☎20-5485	
	生涯学習センターけやき		×						×	×	×	×	×	×	×	×	けやき	☎35-5300	
	生涯学習センター国府津学習館		×						×	×	×	×	×	×	×	×	国府津学習館	☎48-2035	
	郷土文化館 ※1		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	郷土文化館	☎23-1377	
	郷土文化館分館松永記念館 ※1		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	尊徳記念館 ※2		×							×	×	×	×	×	×	×	尊徳記念館	☎36-2381	
	中央図書館(かもめ)		×							×	×	×	×	×	×	×	中央図書館(かもめ)	☎49-7800	
	小田原駅東口図書館		×							×	×	×	×	×	×	×	小田原駅東口図書館	☎20-5577	
	マロニエ図書室		×							×	×	×	×	×	×	×	マロニエ図書室	☎47-1515	
	いずみ図書コーナー		×							×	×	×	×	×	×	×	いずみ図書コーナー	☎37-9111	
	こゆるぎ図書コーナー		×							×	×	×	×	×	×	×	こゆるぎ図書コーナー	☎43-0200	
	小田原文学館		×							×	×	×	×	×	×	×	小田原文学館	☎22-9881	
スポーツ施設・公園・レクリエーション	小田原アリーナ		×							×	×	×	×	×	×	×	小田原アリーナ	☎38-1144	
	小田原テニスガーデン									×	×	×	×	×	×	×			
	城山陸上競技場									×	×	×	×	×	×	×			
	城山庭球場		×							×	×	×	×	×	×	×			×
	小峰庭球場									×	×	×	×	×	×	×			×
	酒匂川スポーツ広場									×	×	×	×	×	×	×			×
	鴨宮運動広場									×	×	×	×	×	×	×			×
	城内弓道場		×							×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	小田原球場、上府中スポーツ広場 ※3		×							×	×	×	×	×	×	×	小田原球場(上府中公園)	☎42-5511	
	小田原スポーツ会館		×							×	×	×	×	×	×	×	スポーツ会館	☎23-2465	
	酒匂川左岸サイクリング場		×	×	×						×	×	×	×	×	×	小田原市事業協会	☎23-4470	
	小田原市いこいの森		キャンプ場														いこいの森	☎24-3785	
		キャンプ場以外				×			×	×	×	×	×	×	☎32-0094				
小田原フラワーガーデン		×								×	×	×	×	×	×	フラワーガーデン	☎34-2814		
小田原こどもの森公園わんぱくらんど		×							×	×	×	×	×	×	×	わんぱくらんど	☎24-3189		
観光施設	天守閣											×					天守閣	☎22-3818	
	常盤木門「SAMURAI館」、歴史見聞館「NINJA館」											×	×				こども遊園地	☎22-3417	
	こども遊園地		現在、休園しています。																
	観光交流センター										×	×	×	×	×	×	観光交流センター	☎46-8403	
	小田原駅観光案内所											×	×				観光協会	☎20-4192	
	早川臨時観光案内所		×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	小田原ガイド協会	☎22-8800	
	レンタサイクル「ぐるりん小田原」		小田原駅東口駐車場									×	×						
			早川臨時観光案内所		×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×			
			観光交流センター									×	×	×	×	×			
	小田原宿観光回遊バス うめまる号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	箱根登山バス	☎35-1271	
小田原宿なりわい交流館										×	×	×	×			なりわい交流館	☎20-0515		
漁港の駅 TOTOCO小田原 ※4																漁港の駅TOTOCO小田原	☎20-6336		
市民活動・集会施設	おだわら市民交流センター UMECO									×	×	×	×	×	×	×	UMECO	☎24-6611	
	梅の里センター									×	×	×	×	×	×		梅の里センター	☎42-5321	
	曽我みのり館									×	×	×	×	×	×		曽我みのり館	☎42-5320	
	コミュニティホールかるがも		×							×	×	×	×	×	×	×	コミュニティホールかるがも	☎47-0575	
	多古しらさぎ会館		×							×	×	×	×	×	×	×	多古しらさぎ会館	☎35-0174	
	国府津駅自転車駐車場併設会議室									×	×	×	×	×	×	×	国府津駅自転車駐車場管理窓口	☎20-5408	
福祉施設	社会福祉センター								×	×	×	×	×	×	×	×	社会福祉センター	☎34-3225	
	生きがいふれあいセンターいそしぎ									×	×	×	×	×	×		いそしぎ	☎49-2330	
	前羽福祉館		×							×	×	×	×	×	×	×	福祉政策課	☎33-1863	
	下中老人憩の家									×	×	×	×	×	×				
子育て支援施設	子育て支援センター	マロニエ						×	×	×	×	×	×	×	×	×	マロニエ子育て支援センター	☎48-8698	
		おだぴよ	×						×	×	×	×	×	×	×		おだぴよ子育て支援センター	☎20-5155	
		いずみ	×						×	×	×	×	×	×	×	×	いずみ子育て支援センター	☎37-9077	
		こゆるぎ	×	×				×	×	×	×	×	×	×	×	×	こゆるぎ子育て支援センター	☎43-0251	
	ファミリー・サポート・センター							×	×	×	×	×	×	×	×	×	ファミリー・サポート・センター	☎070-1396-1537	
	児童プラザラッコ		×						×	×	×	×	×	×	×	×	マロニエ子育て支援センター	☎48-8698	
おだわら子ども若者教育支援センター はーもにい								×	×	×	×	×	×	×	×	子ども若者支援課	☎46-6763		
駐輪場など	駐輪場 ※5			×													地域安全課	☎33-1396	
	東町自転車等保管場所 ※6								×	×	×	×	×	×	×	×	保管場所	☎35-0850	
その他の施設	斎場			×								×	×	×			斎場	☎34-4909	
	小田原競輪場(車券発売、払戻金支払い) ※7							×				×	×	×			小田原競輪場	☎23-1101	
	サンサンヒルズ小田原		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	小田原競輪場(包括委託事業者事務局)	☎24-4251	
	ハルネ小田原 ※8												×				ハルネ小田原(街かど案内所)	☎23-1150	

※1 郷土文化館、松永記念館 郷土文化館および松永記念館は、12月15日(月)～1月3日(土)まで休館します。
12月22日(月)は、館内メンテナンスおよび設備安全点検のため、臨時休館です。
※2 尊徳記念館
※3 小田原球場 グラウンドは冬季閉鎖のため、12月～2月は使用できません。
※4 漁港の駅 TOTOCO小田原 年中無休です。多目的室は、12月20日(土)～1月7日(水)は終日利用できません。

※5 駐輪場など
※6 東町自転車等保管場所
※7 小田原競輪場
※8 ハルネ小田原

市営駐輪場は平常どおり営業しています。
営業時間は12:00～18:00です。
競輪開催関係は、6ページのイベントコーナーをご覧ください。
地下歩道は、通常どおり6:00～22:30まで通行できます。12月31日(水)、1月2日(金)・3日(土)は一部営業時間が異なる店舗があります。詳しくは、ハルネ小田原ホームページをご覧ください。

民生委員・児童委員名簿

福祉政策課 33-1863

12月1日からの民生委員・児童委員が決まりました。任期は3年です。民生委員・児童委員は、福祉全般について、行政や関係機関とのパイプ役として相談に乗り、各窓口を紹介してくれます。守秘義務がありますので、相談内容は固く守ります。お住いの地域を担当する民生委員の連絡先については、福祉政策課までお問い合わせください。

※11月4日現在 (敬称略)		
地区名	担当	氏名
緑	1区-1	相川佳子
	1区-2	大野直美
	2区-1	降旗美知子
	2区-2	河合公美
	3区	未定
	浦町	未定
	4区	小野邦枝
	5区	一寸木收
	竹花	高野博幸
	銀座	未定
	主任児童委員	池田法枝
	主任児童委員	福田博美
新玉	台宿	市川幸男
	大工町	川口可愛
	9区	中山佳子
	10区	稲葉聖子
	11-1区	南谷亜純
	11-2区	國見かをり
	12区	奥津靖夫
	13区	清水知子
	14区	田中一乃
	主任児童委員	岡田裕美
	主任児童委員	山崎由起子
万年	15区	古幡ますみ
	16区	山田昭子
	17区	未定
	18区	星野正司
	19区	高橋二三代
	20区-1	長谷川佐世子
	20区-2	高橋操
	主任児童委員	柳下直美
	主任児童委員	富永優子
幸	21区-1	中野有香
	21区-2	加藤祥子
	22区	樋口正典
	23区	磯崎佳子
	24区	山室美乃
	25区	遠藤典子
	26区	石井則子
	27区-1	辻本靖子
	27区-2	朝見美子
	主任児童委員	未定
	主任児童委員	未定
十字	28区	邨山久美子
	29区	和田いね子
	30区	佐野和珠子
	31区	栗畑由美子
	32区-1	曾我由美
	32区-2	金田洋子
	主任児童委員	岩田和代
	主任児童委員	未定
足柄	33区・セントラルハイツ	松岡晴美
	34区	落合千博
	35区	山岸勝
	36区-1	出野正一
	36区-2	竹田早苗
	36区-3	大塚鈴珠
	37区-1	田代美枝子
	37区-2	柳下純子
	主任児童委員	柳下鮎美
	主任児童委員	未定
芦子	寺町-1	山口亘子
	寺町-2	内藤雅三
荻窪-1	分部敏	

芦子	荻窪-2	佐藤直美
	荻窪-3	田端圭子
	荻窪-4	高橋俊雄
	下谷津	未定
	中谷津	未定
	上谷津	未定
	入谷津	三好恭子
	池上-1	中矢慎一
	池上-2	古谷洋子
	主任児童委員	深川ゆかり
	主任児童委員	岩原真実
二川	井細田1区-1	和田佐江子
	井細田1区-2	金川美江
	43区-1	岩本真澄
	43区-2	永田久美子
	44区-3	土屋桂一郎
	44区-2	中山陽子
	44区-1	中山岩男
	グリーンタウン	野澤初美
	主任児童委員	田淵薫
	主任児童委員	喜多容子
東富水	蓮正寺第1南	上村順一
	蓮正寺第1北	未定
	蓮正寺第2	渡辺みさ子
	蓮正寺第3	手塚哲夫
	蓮正寺第4	磯崎伸子
	蓮正寺第5	瀬戸恵子
	蛭田駅前	未定
	蓮正寺住宅	吉葉松子
	蛭田中央	湯川光子
	霞ノ瀬・狩川	藤井早智子
	蛭生会-1	廣重知子
	葎田・蛭生会-2	未定
富水	飯田岡東	中田茂
	中曽根-1	木村恵美子
	中曽根-2	渡邊稔
	中曽根-3	別府篤
	堀之内東	佐藤親雄
	堀之内中	関田純示
	堀之内西	坂本洋子
	主任児童委員	松本章
	主任児童委員	加藤由美
久野	飯田岡本村	磯崎幸彦
	飯田岡若宮	常盤一恵
	飯田岡飯中	村山恵
	飯田岡楠	山崎豊
	柳新田	杉之間美夏
	小台	平田律子
	池田	桑山保子
	新屋(北)	中嶋真樹
	新屋(南)	安藤弘美
	府川	長谷龍太郎
	久所	椎野美乃
	仲沢	未定
久野	宮本-1	藤森真弓
	宮本-2	松尾秀美
	宮本-3	未定
	坂下-1	石田美苗子

久野	坂下-2	伊澤秀一
	京福台・北久保	川口喜美子
	下宿-1	山本美佐江
	下宿-2	石井美土里
	中宿-1	野崎洋子
	中宿-2	下田清美
	星山	鈴木義文
	中久野	大森二郎
	留場・坊所	山崎桂
	三国・欠ノ上	常盤正志
	舟原・諏訪原・和留沢	山木朱美
	サニータウン	櫛田三佐子
大窪	主任児童委員	田中寛子
	主任児童委員	澤野浩子
早川	58区	大森邦子
	59区-1	佐藤智子
	59区-2	山本啓子
	60区-1	野中寿美子
	60区-2	山田信子
	61区-1	小林美由紀
	61区-2	城所小百合
	62区-1	佐藤るみ子
	62区-2	秋山紀久枝
	63区	榎野かをり
	64区	大木とも子
山王網一色	主任児童委員	成川洋子
	主任児童委員	川向由起子
下府中	木地挽-1	山口恵子
	木地挽-2	杉崎洋子
	木地挽-3-1	佐藤直美
	木地挽-3-2	土田久美子
	木地挽-4-2	平井健
	木地挽-4-1	秋山真澄
	みなと2	本田耕土
	みなと1	日下部美也子
	西組	青木順子
	中組	石田朝子
	東組	伊藤公二
富士見	主任児童委員	相原久花
	主任児童委員	森山由美子
下府中	山王松原	池田信彦
	山王西	梶塚孝雄
	山王東	寺澤いづみ
	70区-1	山田米子
	70区-2	岩田隆一
	70区-3	濱花保子
	網一色-1	長澤正人
	網一色-2	田所滋
	主任児童委員	柴田千賀子
	主任児童委員	古江淳子
富士見	下堀(東)	未定
	下堀(西)	未定
	中里1区-1A	尾嶋隆広
	中里1区-1B	高田操
	中里1区-2	五十嵐敏幸
	中里2区-1	未定
	中里2区-2	未定
	矢作(下)	未定
	矢作(上)	山下好美
	鴨宮2区-1	多田朝子
	鴨宮2区-2	渡邊智美
	鴨宮3区	未定
国府津	鴨宮4区-1	生田目健
	鴨宮4区-2	齋藤千春
	鴨宮5区-1	未定
	鴨宮5区-2	未定
	大道	未定
	主任児童委員	卯月玲子
	主任児童委員	未定
	南鴨宮1区	湯澤洋子
	南鴨宮2区-1	柳川恵子
	南鴨宮2区-2	渡邊聡子
	南鴨宮3区-1	名倉雅子
	南鴨宮3区-2	渡辺真由美

富士見	南鴨宮4区	清藤秀子
	南鴨宮5区	中嶋恵子
	主任児童委員	新村華奈子
	主任児童委員	山田治美
桜井	寺下	佐藤京子
	高河原-1	釧持年康
	高河原-2	和田浪子
	河原庭	秋山恵美子
	西之庭・新屋敷	山口かなえ
	浅原	栗田光恵
	柳町	邊見直美
	東栢山学校前(東)	大重和子
	東栢山学校前(西)	吉村志づ子
	東栢山城北-1	山本寛
	東栢山城北-2	小泉美智代
	東栢山道下	未定
豊川	東栢山の中の町	若林とも子
	東栢山道上(東)	曾我清美
	東栢山道上(西)	清水純一
	西栢山(東)	岡部孝子
	西栢山(西)	小澤安久
	弥生-1	深野ゆかり
	弥生-2	宮田恵
	主任児童委員	中馬方子
	主任児童委員	小林由美
上府中	飯泉1区西	橋本典子
	飯泉1区北	山室秀子
	飯泉1区南	渋谷町子
	飯泉2区-1	佐藤典子
	飯泉2区-2	瀬戸千恵子
	飯泉3区北	杉山美枝子
	飯泉3区南	浅見敏恵
	東成田(下)-1	甘粕ひさ子
	東成田(下)-2	植村美佐江
	東成田(上)・成和	瀬藤時幸
	西成田	村山洋子
	桑原-1	未定
下曾我	桑原-2・富士見	加藤加代子
	主任児童委員	富田玉江
	主任児童委員	栗原広子
国府津	高田別堀西	田代宏明
	高田別堀南	市野美登里
	高田別堀東	舟木怜美
	上千代-1	高橋亮子
	上千代-2	田邊淳子
	上原	三廻部ユウ子
	下千代	小塩千恵
	永塚-1	大山智子
	永塚-2	矢吹信子
	東大友	神野友宏
	西大友	飯倉正利
	延清	山田清美

国府津	国 府 津15区-1・19区	高橋裕
	国府津15区-2	長谷川容子
	国府津16区-1	市川雄二
	国府津16区-2	御守みどり
	国府津18区	岩沢好子
	主任児童委員	關水奈子
	主任児童委員	古谷友子
酒匂	酒匂1区-1	神尾啓子
	酒匂1区-2・17区	内田理佐
	酒匂2区・4区	相原道明
	酒匂3区・13区	乃美貴代美
	酒匂5区・15区	安間由香理
	酒匂6区-1	江川マリ子
	酒匂6区-2	未定
	酒匂7区・14区	久保田哲夫
	酒匂8区-1	石川亜紀子
	酒匂8区-2	中村あゆみ
	酒匂9区・10区	田中純一
	酒匂11区-1	小林和代
片浦	酒匂11区-2・16区	大野旨代
	酒匂12区-1	鍋倉英子
	酒匂12区-2	五十嵐尚美
	小八幡1区-1・2区-2	早川孝之
	小八幡1区-2・2区-1	未定
	小八幡3区・4区	譲原玲子
	小八幡5区・6区	本多伊智代
	小八幡8区	鈴木良紀
	小八幡9区	未定
	小八幡10区	大槻祐子
	主任児童委員	鈴木かおり
	主任児童委員	及川章子
曾我	石橋	佐井知子
	米神	松本淳
	根府川	吉田千衣美
	江之浦	浅倉好美
	主任児童委員	仲眞常子
	主任児童委員	中島明子
前羽	上曾我・曾我大沢	稲毛竹男
	中河原・明月・山岸	柳川高広
	下大井	久保寺富紀子
	鬼柳	未定
	春木	市川宏
	籠場	未定
	花里	未定
	主任児童委員	久保寺透
	主任児童委員	石井由美子
下中	西・JRアパート	椎野正枝
	中宿	高橋直子
	向原	椎野元裕
	町屋	椎野千鶴子
	押切・羽根尾	峯尾富美子
	主任児童委員	吉際史明
	主任児童委員	椎野富二美
	中村原1区・住宅	高橋退仁
	中村原2区	未定
	中村原3区・6区・7区	菫澤ひとみ
	小船1区	船津勝
	小船2区・山西	松廣良子

募集

街かど博物館体験ツアー

ID P19636 商業振興課 ☎33-1511
小田原の伝統と今を体験！まちはくツアー

小田原駅から程近い中心市街地にある街かど博物館を巡ります(約2.0km)。
日 12月13日(土) 10:00～13:30
集合 10:00 JR小田原駅改札前
定 15人・申込先着順
費 4800円(昼食代含む)
申 12月10日(水) までに、参加者氏名、電話番号を書いて、メールで
E odawara@machien.net

食で生き生き！栄養教室

ID P03391 **申込** 健康づくり課 ☎47-4721
「元気の素・楽しく・美味しく・しっかり栄養」をテーマとした高齢者に必要な栄養素の取り方などの講話と調理実習です(試食有り)。
日 1月20日(火) 10:00～12:30
場 梅の里センター1階体験加工室
対 市内在住の65歳以上の人30人・申込先着順
費 500円(材料費)
持 エプロン、三角巾、布巾、マスク
申 12月11日(木)～22日(月)に、電話で
共催 小田原創友クラブ

国際シンポジウム

ID P40458 **申込** 文化政策課 ☎33-1703
マザーハウス代表取締役副社長の山崎大祐さんによる講演とパネルディスカッションを行います。テーマは「途上国から世界ブランドをつくる、その挑戦と現実～マザーハウスを通してみる今の世界とは？」です。
日 1月24日(土) 14:00～16:00
場 三の丸ホール小ホール
申 1月19日(月) までに、氏名(ふりがな)、電話番号を書いてメールまたは申込フォーム、電話で
E cultural-exchange@city.odawara.kanagawa.jp
共催 小田原海外市民交流会、小田原箱根商工会議所



▲申込フォーム

市職員

ID P37569 職員課 ☎33-1241

4月1日に採用する職員を募集します。受験資格や申込方法など、詳しくは市ホームページにある「職員採用試験案内」をご覧ください。

職種	土木技術／建築技術／建築設備技術／保育士・幼稚園教諭
受験資格	職種ごとに異なる
採用予定人数	若干名

小田原尊徳マラソン大会
～みんなで走ろう！尊徳の道～

体育協会 ☎38-3310
日 3月8日(日) 9:00スタート
場 小田原アリーナ(スタート・フィニッシュ)
内 10kmの部・ハーフの部
定 高校生以上2千人・申込先着順
費 6千円(傷害保険料含む)
申 1月12日(祝) までに、エントリーサイトで
関 スポーツ課



▲エントリーサイト

おだわら市民学校公開講座

ID P39773 **申込** 生涯学習課 ☎33-1882

小田原ワインプロジェクト発起人の鈴木伸幸さんを講師に迎え、「小田原ワインプロジェクト」をテーマにお話いただきます。
日 1月17日(土) 10:00～12:00
場 けやき大会議室
定 30人・申込先着順
申 1月16日(金) までに、電話または電子申請システムで



▲電子申請システム

自殺対策に関する
懇談会委員

ID P30425 健康づくり課 ☎47-4723
自殺対策に関する懇談会の委員を募集します。
対 市内在住・在勤・在学の20歳以上で、1月の平日に1回開催する会議に出席できる人2人
任 3月31日(火) まで
選 書類審査
額 3千円
申 12月23日(火) までに、市ホームページにある申込書に必要事項を書いて、保健センターに直接、または郵送で
〒256-0816 酒匂2-32-16
保健センター健康づくり課 宛

第53回相模人形芝居大会

ID P30485 相模人形芝居連合会 (南足柄市文化スポーツ課) ☎73-8062

江戸時代の中頃から伝わる人形芝居を県内5団体が披露します。本市からは国の重要無形民俗文化財に指定されている下中座が出演します。
日 2月15日(日) 12:30～16:30(開場12:00)
場 南足柄市文化会館大ホール(南足柄市関本415-1)
定 750人・多数抽選
申 1月9日(金) までに、電子申請システムまたは往復はがきに住所・氏名・電話番号・参加人数(2人まで)と氏名・返信用の宛先を書いて郵送で
〒250-0192
南足柄市関本440
南足柄市文化スポーツ課 宛
関 文化財課



▲電子申請システム

普通救命講習Ⅰ

ID P00490 救急課 ☎49-4441
成人の心肺蘇生法とAEDの取り扱いについて学びます。
受講する場合は、指定する期間に総務省消防庁のウェブ講習を受講する必要があります。
日 1月17日(土) 9:00～11:00
場 市消防本部
対 中学生以上(市消防本部管内に在住・在勤・在学の人を優先)15人・申込先着順
申 12月12日(金) から電話(平日9:00～17:00) で予約後、12月26日(金) 17:00までに、申請書を最寄りの消防署所に直接

おだわら市民学校人づくり
課題解決ゼミ

ID P40270 **申込** 生涯学習課 ☎33-1882

各分野で活動している団体を対象とした講座を開催します。テーマは「個々の能力を発揮できる組織づくり～チームビルディングを学ぶ～」です。
日 1月10日(土)・17日(土)・24日(土) 14:00～16:00
場 けやき4階第2会議室 他
対 ①②の両方を満たす人20人・申込先着順(1団体3人まで)
①市内で活動している団体(自治会や各種サークルなどを含む)に所属
②連続受講が可能(連続受講できない場合、同じ団体の人が交代で受講することも可)
申 1月7日(水) までに、電話または電子申請システムで



▲電子申請システム

指導者養成講座

「プレイパーク編」

ID P39665 青少年課 ☎33-1723
青少年の指導者としての知識を習得し、子どもと安全に体験学習を行うためのスキルを身に付けます。
日 1月17日(土) 9:00～16:00
場 上府中公園内多目的広場
対 青少年育成や子どもとの体験活動に関心のある高校生以上の人30人・申込先着順
講 佐久間純恵さん
(Bring Out the Best)
申 1月5日(月) までに、電子申請システムで



▲電子申請システム

キャンパス講師による
1日体験講座

ID P40302 生涯学習課 ☎33-1890
キャンパスおだわら人材バンクに登録されたボランティア講師による生涯学習講座を体験します。詳しいプログラムは市ホームページをご覧ください。

日 1月30日(金)
午前の部10:00～11:30
午後の部13:30～15:00
場 けやき
定 各講座による・申込先着順
費 1講座につき300円(材料費別途必要な場合あり)
申 1月22日(木) までに、電話または電子申請システムで
※原則2歳から就学前まで託児有り(1月15日(木) までに、申し込み。定員は午前・午後各6人)



▲電子申請システム

スマホ教室

ID P32503 **申込** 政策調整課 ☎33-1733

●市内の携帯販売事業者4社の協力による講習

開催日	時間	場所	コース・内容	定員
12月22日(月)	10:30～12:30	おだわらイノベーションラボ	①基本と防災	各回16人程度
	14:00～16:00		②基本とセキュリティ《新規》	
1月15日(木)	13:30～14:30	マロニエ(集会室203)	③基本編	各回8人程度
	15:00～16:00		④応用編	

- 内** ①**基本と防災** スマホの基本(マップ・カメラ)、防災アプリ、災害情報の収集など
②**基本とセキュリティ** スマホの基本(マップ・カメラ)、特殊詐欺についてなど
③**基本編** 基本的な操作方法、動画、音声操作など
④**応用編** 防災アプリ、テレビ、ラジオなど
対 市内在住の人・申込先着順
申 12月10日(水) 9:00から電話または申込フォームで
※申し込み人数の状況により、開催中止となる場合があります。



▲申込フォーム

●講師を務める各販売事業者の店舗でもスマホ教室や相談を行っています。

時間など詳しくは、各店舗に電話でお問い合わせください。

- ソフトバンクダイナシティ小田原 ☎46-1666
- ドコモショップ小田原東店 ☎49-8881
- エーユースタイル au Style小田原富水店 ☎39-5001

募 集

健康運動教室

小田原アリーナ ☎38-1144
令和7年度第4期(1月～3月)の申し込みを受け付けます。

- 小田原アリーナ・城山陸上競技場
約55教室
- 小田原アリーナ窓口に直接・申込先着順
- スポーツ課
- 
▲小田原アリーナホームページ

トレーニングルーム利用者講習会<1月分>

- 申込 ①小田原アリーナ ☎38-1144
- 申込 ②スポーツ会館 ☎23-2465

- ①小田原アリーナ
- 毎週火曜日14:00～15:00
毎週水曜日11:00～12:00
毎週金曜日19:00～20:00
毎週土曜日19:00～20:00
毎週日曜日11:00～12:00
※1月4日(日)・16日(金)・21日(水)・31日(土)を除く
- 対 高校生以上各日15人・申込先着順
- 12月15日(月)9:00～、電話または窓口で
- スポーツ課
- ②スポーツ会館
- 1月8日(木)・17日(土) 14:00～15:00
1月28日(水) 18:30～19:30
- 対 高校生以上各日4人・申込先着順
- 産業政策課

パブリックコメント(市民意見)

ID P04405 広報広聴室 ☎33-1263 FAX32-4640

政策などの案と意見記入用紙は、担当課、タウンセンター、図書館などに配架する他、市ホームページに掲載します。

■期間内に、担当課まで直接、郵送(当日消印有効)、ファクスまたは市ホームページの投稿フォームで

意見提出期間
12月15日(月)～1月13日(火)

政策などの案の題名	担当課
(仮称)小田原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の制定	保育課 ☎33-1451
小田原市火入れに関する条例の一部改正	農政課 ☎33-1491
小田原市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部改正	地域交通課 ☎33-1405
小田原市火災予防条例等の一部改正	予防課 ☎49-4427
小田原市環境基本計画の改定	環境政策課 ☎33-1472
小田原市一般廃棄物処理基本計画の改定	環境政策課 ☎33-1471
小田原市気候変動対策推進計画の改定	ゼロカーボン推進課 ☎33-1426

小田原梅干品評会

- ID P27560 梅の里センター ☎42-5321
- 天日干しした梅干しを指定容器に200g程度(容器を除く)入れて、応募してください。応募された作品は、梅の里センターに展示します。
- 対「梅生産者の部」「一般の部」の2部門
- 申 1月4日(日)～12日(祝)に、応募用紙に必要事項を書いて、梅干しと合わせて梅の里センターに直接
- ※応募用紙と容器は、梅の里センターで配布
- ※応募作品の返却にも応じます
- 農政課

図書館クリスマス音楽会

- 申込 小田原駅東口図書館 ☎20-5577
- ファゴットの演奏と朗読を行います。
- 12月21日(日)
①11:00～12:15、②14:00～15:15
- 場 小田原駅東口図書館
- 定 各35人・申込先着順
- 出 興津諒さん(ファゴット奏者)、森内麗香さん(伴奏)、小田原高校放送部(朗読)
- 申 12月12日(金)9:00から直接、電話または東口図書館ホームページで
- ※①と②の両方に申し込むことはできません ▲ホームページ

イベント

12/13(土) わんぱくの日

- ID P40312 わんぱくらんど ☎24-3189
- 「感謝デー」を開催します。
- 時 9:00～16:00 ※雨天中止
- 内 列車、ロードトレイン、キックバイクが無料。有料でミニ門松作り、丸太の輪切りなどの他、フォレストアドベンチャーではロングジップを体験できます。
- ふれあい動物園
- 時 10:00～15:00 (12:00～13:00 休憩) ※雨天中止
- 場 ふれあい広場
- 内 かわいい動物たちと触れ合える移動式動物園がやって来ます。
- みどり公園課

12/19(金) 大相撲小田原場所

- 全栄企画 ☎03-3538-2300
- 7年ぶりに小田原で開催します。
- 時 9:00～15:00
- 場 小田原アリーナ
- 主 全栄企画 他
- 関 観光課



▲詳しくはこちら



定例イベント

フラワーガーデン

- ID P04133 フラワーガーデン ☎34-2814
- ※月曜日休園(祝・休日の場合は、翌日以降最初の平日が休園)
- クリスマスフェスタ
- 期 12月21日(日)まで
- 内 リース作りや針葉樹のミニツリーのミニツリー作りなど
- サンタさんがやってくる！
- サンタさんに元気にあいさつしてプレゼントをもらおう！
- 12月20日(土)・21日(日)13:00～
- 対 小学生以下各日30人・申込先着順

●1月の3連休イベント

- 期 1月10日(土)～12日(祝)
- 内 オリジナルの特大トロピカルかるた大会、多肉植物の寄せ植え作りなど
- しめ縄作り
- 12月20日(土)13:30～
- 内 お正月飾りとして欠かせないしめ縄を手作りします。
- 定 10組・申込先着順
- 費 2千円
- 申 12月6日(土)9:00から電話で

尊徳記念館

- ID P07325 尊徳記念館 ☎36-2381
- 二宮尊徳生家いりり燻蒸
- 12月27日(土)、1月10日(土) 9:00～11:30
- 場 二宮尊徳生家
- ※12月27日(土)は燻蒸の終了後に生家のすす払いを行います。

UMECO

- UMECO ☎24-6611
- UMECO企画展
- ※時間など詳しくはUMECOホームページで確認してください。
- UMECOクリスマス
- 期 12月18日(木)～26日(金)
- 場 多目的コーナー
- 第10回UMECO祭りポスター展
- 期 12月10日(水)～1月9日(金)
- 場 ホワイエ
- アクティブサロン
- 手仕事でつながる時間
- 1月10日(土)・11日(日) 10:00～15:00
- 費 800円(材料費)
- 共催 Tingling Roses
- 場 活動エリア、交流エリア



▲UMECOホームページ

上府中公園

- 上府中公園管理事務所 ☎42-5511
- カミイチ(かみふなかクラフト市)
- 12月20日(土)10:00～16:00 ※荒天中止
- 内 手作りのクラフト品を中心に出品します。
- 湘南オーガニックファーマーズマーケット
- 12月13日(土)、1月10日(土) 10:00～13:00 ※荒天中止
- 内 移住して農業を始めた人による農産物を主としたマルシェです。

小田原競輪

- 事業課 ☎23-1101
- 小田原本場開催
- モーニング・マシェバラ杯(FⅡ Ⅱ)
- 期 12月19日(金)～21日(日)
- ジャパンカップ×HPCJC・日刊スポーツ杯争奪戦(FⅠ)
- 期 12月24日(水)～26日(金)
- 小田原競輪場はHPCJCを支援しています。
- モーニング・おトクにPLAY！オッズパーク杯(FⅡ)
- 期 1月3日(土)～5日(月)
- 場外開催
- 伊東温泉記念(GⅢ) 他
- 期 12月11日(木)～14日(日)
- 広島記念(GⅢ) 他
- 期 12月19日(金)～26日(金)
- グランプリシリーズ(YGP・GGP・GP・平塚) 他
- 期 12月28日(日)～30日(火)
- ※12月28日(日)・29日(月)は早朝前売投票所のみ開設します(場内への入場はできません)
- 立川記念(GⅢ) 他
- 期 1月3日(土)～7日(水)
- 和歌山記念(GⅢ) 他
- 期 1月9日(金)～12日(祝)

- 【1秒の駆け引きが人生を変える～年末最後の大一番！KEIRINグランプリ2025を小田原競輪場で観戦しよう！】
- 12月30日(火)は、場内で最終レースである「KEIRINグランプリ2025」まで発売します。その1レースの優勝賞金はなんと1億円超！グランプリはテレビ民間放送の地上波でも放送されますが、飲食物を扱う売店も出店していますので、2025年最後の夢の決戦を、ぜひ小田原競輪場でご観戦ください。場内には初心者向けガイダンスコーナーもあります。
- ※♡はガールズケイリン
- ※モーニングは開門後からレースを観戦できます。
- ※ナイターは、4R以降(予定)は前売りのみ
- 
▲小田原競輪



イベント

12/20 (土)
クリスマスフェスティバル

UMECO ☎24-6611

フレスポ小田原シティーモールと協働で開催します。市民活動団体による歌や演奏、踊りなど多彩な発表をお楽しみください。

時 11:00～15:00

場 フレスポ小田原シティーモール南館1階エントランス

関 地域政策課



▲UMECO ホームページ

子ども・子育て

1月の乳幼児健診

ID P14159 子ども若者支援課 ☎46-7025

事業名	対象・実施日など
4カ月児健診	15日(木)・28日(水)
1歳6カ月児健診	13日(火)・22日(木)
2歳児歯科健診	16日(金)・27日(火)
3歳児健診	8日(木)・20日(火)
8～9カ月児健診	取扱医療機関にて

※乳幼児健診の対象者には、個別に健診の日時をご案内します。

※状況により日程などを変更する場合があります。

3カ月のあかちゃんあつまれ！

ID P33977 子ども若者支援課 ☎46-7025

日 12月19日(金) 14:00～15:00 (受け付け13:30～)

場 保健センター

内 赤ちゃんの身体測定、親子ふれあい遊び講座、育児相談

対 令和7年9月生まれの第1子と親

持 母子健康手帳、バスタオル、おむつ、ミルク、着替え

※申し込み不要

ベビーマッサージ&あそびのひろば

ID P39633 子ども若者支援課 ☎46-7025

日 1月22日(木) 10:00～11:30 (受け付け9:45～)

場 保健センター2階和室

内 親子ふれあい遊び講座、育児講話

対 令和7年5月～6月生まれの赤ちゃん^と親10組・申込先着順

持 母子健康手帳、バスタオル、おむつ、ミルクなど

申 12月22日(月)～1月20日(火)までに、電子申請システムで

電子申請システムで「ベビーマッサージ」と検索▶



学校給食センター給食試食会

ID P40218 学校給食センター ☎36-7512

日 ①1月28日(水)②1月29日(木)③2月24日(火)

10:30～11:30

場 学校給食センター

内 献立は、市ホームページまたは電子申請システムをご確認ください。

対 市内在住・在勤・在学の人各30人程度・申込先着順

費 396円(中学生の給食費)

申 各開催日の3週間前までに、電子申請システムで

電子申請システムで「給食」と検索▶



英語で①あそぼう！②つくろう！

ID P38681 (申込) 中央図書館(かもめ) ☎49-7800

ネイティブ講師ダンカンさんと一緒に「英語であそぼう！」では、クリスマスソングを歌いましょう！「英語でつくろう！」ではクリスマスリースを作ります。

日 12月14日(日)①13:30～14:10②14:30～15:30

場 中央図書館(かもめ)2階①視聴覚ホール②創作室

定 ①80人・当日先着順

②小学3年生以下20人・申込先着順

費 ②500円(当日現金払い)

申 ②電話または申込フォームで



▲申込フォーム

ママパパ学級

ID P01994 子ども若者支援課 ☎46-7025

妊娠・出産・育児について学ぶ講座です。

●新生児の1日の生活(沐浴体験 他)

日 1月30日(金) 13:30～

場 保健センター

対 妊娠20週以降の妊婦とパートナー(妊婦のみも可)12組程度・申込先着順

持 母子健康手帳、筆記用具、エプロン、バスタオル1枚、沐浴布・沐浴用ガーゼ各1枚、ベビー肌着・ベビー服2枚ずつ、ぬれたものを入れるビニール袋

申 1月23日(金)までに、電子申請システムで

●妊娠・出産の流れと栄養のお話

日 1月9日(金) 13:30～

場 保健センター

対 妊娠20週以降の妊婦とパートナー(妊婦のみも可)・20組程度

持 母子健康手帳、筆記用具

申 1月2日(金)までに、電子申請システムで

電子申請システムで「ママパパ」と検索▶



妊娠期から青壮年期の相談は「はーもにい」へ

ID P29355 おだわら子ども若者教育支援センター・はーもにい
日 毎週月～金曜日(祝・休日を除く)9:00～17:00
場 おだわら子ども若者教育支援センター・はーもにい

妊娠・育児に関する相談 子ども若者支援課 ☎46-6125	母子健康手帳の交付や育児の相談など、保健師・助産師が妊娠期から、安心して出産・育児に向かえるようサポートします。
子どもに関する相談 子ども若者支援課 ☎46-6763	子どもからの相談、子育て(18歳未満の子どもに関するもの)に関するさまざまな相談をお受けします。時間外の児童虐待相談は☎189にご連絡ください。
子どもの発達に関する相談 子ども若者支援課 ☎46-6787	主に就学前までの子どもの発達についての相談をお受けします。
就学相談 教育指導課 ☎46-6073	年長の子どもの小学校入学後の支援や環境について相談をお受けします。
教育相談 教育指導課 ☎46-6034	市内在住の小・中学生に関するさまざまな相談をお受けします。

子育て支援センター関連イベント

ID P02036 子育て政策課 ☎33-1874

マロニエ子育て支援センター ☎48-8698 おだびよ子育て支援センター ☎20-5155
いずみ子育て支援センター ☎37-9077 こゆるぎ子育て支援センター ☎43-0251

●お産おしゃべりたいむ

助産師さんと一緒におしゃべりしましょう。

日 12月15日(月) 10:15～11:45

場 マロニエ

定 10組

対 プレママから先輩ママまで

●赤ちゃんデー

6カ月までの乳児限定ひろばです。

日 ①12月11日(木) 14:00～16:00

②12月18日(木) 14:30～16:30

③12月25日(木)

①10:15～12:00

②13:45～15:45

※①は上の子の参加も可能

場 ①いずみ②おだびよ③マロニエ

●すくすく赤ちゃんデー

0歳児と保護者の会です。妊婦さんや上の子も一緒に参加できます。

日 12月12日(金) 10:00～11:30

1月9日(金) 10:00～11:30

場 こゆるぎ

●赤ちゃんひろば

日 1月8日(木) 14:30～16:30

場 おだびよ

定 10組

●ヨチヨチデー

7～11カ月の乳児限定ひろばです。

日 ①12月24日(水) 10:00～12:00

②12月25日(木) 14:30～16:30

③1月14日(水) 13:45～15:45

場 ①いずみ②おだびよ③マロニエ

●双子ちゃんデー

日 1月9日(金) 10:00～11:30

場 おだびよ

●はれの日

お子さんの発達や特性に不安を感じている親子のひろばです。

日 ①12月19日(金) 10:00～12:00

②12月22日(月) 10:00～12:00

③1月13日(火) 10:00～12:00

※①③参加者同士のお話会(ボランティアさんも来ています)
②親子で自由に遊べます

場 ①いずみ②③マロニエ

●ことりおはなし会

日 1月10日(土) 10:30～11:30

場 おだびよ

●離乳食・幼児食講座

日 12月17日(水) 14:30～15:30

場 おだびよ

定 10組

●専門職相談日

①小児科医師

②保育コンシェルジュ

③心理相談

日 ①12月24日(水) 10:00～12:00

②①12月10日(水)

10:00～12:00

②12月17日(水)

13:30～15:30

③12月23日(火) 10:00～12:00

場 ①マロニエ

②①マロニエ②いずみ

③おだびよ

定 ①②各4組③3組

※定員のあるイベントは、申込先着順です。参加希望の人は、各センターにお申し込みください。



こそだてカレンダー▲





各種相談

●市民相談〈12月〉 ID P32283 地域安全課 ☎33-1383

電話による予約について(一般相談は予約不要です)

※法律相談は相談日の2週間前の日の8:30から、行政書士相談は相談日
 前日の8:30～16:00、それ以外の相談は相談日当日の8:30から電話
 で受け付けます(先着順)。

※一般・心配ごと・法律は、祝・休日を除きます。

場 市役所2階地域安全課

一般相談	離婚、相続など、日常生活上の一般的な相談	月～金曜日	9:00～12:00 13:00～16:00
心配ごと	家庭や地域で困ったこと、悩み事などに関する相談	毎週月曜日	13:30～15:30 (受付14:00まで)
法律 (2週間前予約)	離婚、相続、多重債務などの法律に関する相談	毎週水曜日	13:30～16:00
人権擁護	嫌がらせ、名誉毀損、プライバシーの侵害などに関する相談	9日(火)	13:30～15:30
司法書士	相続・贈与などの登記手続き、成年後見、遺言書の作成などに関する相談	11日(木)	13:30～15:30
税務	相続税・贈与税・譲渡に関する所得税などの税金に関する相談	16日(火)	13:30～15:30
行政	国・県・市への要望や苦情	18日(木)	13:30～15:30
宅地建物取引	不動産の売買など取引、賃貸借などに関する相談	25日(木)	13:30～15:30

場 マロニエ2階集会室202

行政書士 (前日予約)	相続・遺言、成年後見、各種許認可申請などの作成・手続きに関する相談	20日(土)	14:00～16:00
----------------	-----------------------------------	--------	-------------

●その他の相談

場 市役所各担当窓口

消費生活相談 ID P31297 消費生活センター (市役所2階地域安全課内) ☎33-1777	消費者トラブルでお困りの人(事業者は除く)からの相談をお受けします。相談にあたっての留意事項は、市のホームページをご覧ください。 日 月～金曜日(祝・休日を除く) 9:30～12:00、13:00～16:00
若者に関する相談 ID P10571 子ども若者支援課 ☎46-7292	社会生活や対人関係などについて悩む若者(30歳代まで)やその親からの相談をお受けします。 日 毎週月～金曜日(祝・休日を除く)9:00～17:00 場 おだわら子ども若者教育支援センター・はーもにい(久野195-1)
経営改善相談 ID P29883 産業政策課 ☎33-1757	各種制度の申請方法や経営計画・事業内容の見直しなど、中小企業診断士の資格を持つ専門家が市内の中小企業の相談を無料でお受けします。 日 毎週木曜日(祝・休日を除く)9:00～17:00 対 市内で事業を営む人または企業
女性相談 ID P11082 (申込) 人権・男女共同参画課 ☎33-1737	夫や親しい男性とのトラブル(DV)など、女性からの相談をお受けします。(面談は予約制) 日 月～金曜日(祝・休日を除く) 9:30～11:30、13:00～16:30
女性のためのキャリア相談 ID P31383 (申込) 人権・男女共同参画課 ☎33-1725	「再就職や転職したいけれど何から始めたらよいかわからない」「職場の人間関係」などの悩みをキャリアコンサルタントと一緒に考えましょう。 日 月～金(祝日・休日を除く) 9:00～12:00、13:00～16:00 (対面、電話とも事前の予約が必要です)
生活困窮者自立支援相談 ID P18649 福祉政策課 ☎33-1892	社会に出るのが怖い、仕事の探し方が分からない、将来が不安など、生活や仕事でお困りの人の相談をお受けします(年齢制限はありません)。 日 月～金曜日(祝・休日を除く) 8:30～17:00
空き家相談 ID P36513 都市政策課 ☎33-1307	空き家に関するさまざまな悩みに対し、専門家とも連携を図りワンストップで対応します。 日 月～金曜日(祝・休日を除く) 8:30～17:00



保健センターからのお知らせ

がん集団検診

ID P26522 健康づくり課 ☎47-4724

FAX47-0830

検診日	胃がん	乳がん*	子宮頸がん ^{けい}
12月13日(土)	○	○	○
1月10日(土)	○		

場 保健センター

申 電話、はがき、ファクスまたは市ホームページ内の電子申請システムで(申込先着順)

※乳がん検診は、マンモグラフィ併用検診(今年度40歳以上の偶数年になる女性・クーポン券をお持ちの人が対象)です。

※胃がん検診は、胃がんバリウム検診です。

みんなで市民体操「おだわら百彩」

ID P25379 (申込) 健康づくり課

☎47-4724

市民体操「おだわら百彩」のレッスンです。

日 12月17日(水)14:00～15:30

場 いそしぎ2階トレーニングルーム

定 15人程度・申込先着順

持 室内履き、飲み物、タオル

申 前日までに、電話で

お口の健康スキルアップ教室

ID P25284 (申込) 健康づくり課

☎47-4721

口腔機能に係る知識や改善方法を学びます。口腔体操の実技もあります。

日 1月22日(木)14:00～15:30

場 いずみ2階いずみホール

対 市内在住の65歳以上の人30人・申込先着順

持 筆記用具、手鏡

講 吉井威博さん(歯科医師) 他

申 12月11日(木)～1月16日(金)に、電話で

「すこやか健康コーナーおだわら」

1月健康相談会

ID P23410 健康づくり課 ☎47-4723

測定や相談ができます(栄養相談日は要予約)。栄養相談日には減塩みそ汁の試飲(数量限定)と塩分濃度測定ができますので自宅のみそ汁をご持参ください。

相談日	栄養	健康
1月7日(水)		○
26日(月)	○	

時 9:00～16:00

場 保健センター1階

保健所の相談と検査

小田原保健福祉事務所 ☎32-8000

●エイズ相談・検査

日 12月18日(木)

9:00～11:00

※梅毒・B型肝炎同 ▲検査説明
 時検査可。

●医師による精神保健福祉相談

日 12月16日(火)・23日(火)、
 1月9日(金)13:30～16:30

●医師による認知症相談

日 12月25日(木)13:30～16:30

●療育歯科相談

日 12月25日(木)9:00～15:30

場 小田原合同庁舎4階

申 各前日までに、電話で

関 健康づくり課

まちなか健康相談

ID P29379 健康づくり課 ☎47-4723

保健師などによる健康・栄養相談、測定(足指力、血圧、血管年齢)を行います。

日 ①12月9日(火)9:30～11:00

※ベジチェック、立位年齢測定あり

②12月18日(木)13:30～15:00

場 ①マロニエ2階202集会室

②尊徳記念館講堂

休日・夜間急患診療カレンダー

場 保健センター 持 健康保険証

●休日診療(日中)

受付

8:30～11:30(歯科9:00～)

13:00～15:30

●準夜間診療

※内科・小児科のみ

受付

平日 19:00～22:00

土・日曜日、祝・休日

18:00～22:00

●連絡先

休日夜間急患診療所 ☎47-0823

休日急患歯科診療所 ☎47-0825

休日夜間急患薬局 ☎47-0826

●休日・夜間の急患への病院案内

かながわ救急相談センター☎#7119

消防署 ☎49-0119

●毎日、夜間の急患診療

毎夜間・当直医の診療科と小児科の診療

市立病院 ☎34-3175